

浪江町 住民意向調査 報告書

令和2年3月

復興庁
福島県
浪江町

浪江町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））	7
2-1-2 世帯人数（問4・問7）	7
2-1-3 現在の居住自治体（問6）	8
2-1-4 現在の住居形態（問8）	8
2-2 将来の意向	9
2-2-1 浪江町への帰還意向（問9）	9
2-2-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じている こと（問10）	10
2-2-3 浪江町へ帰還する場合の家族（問15）	11
2-2-4 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問16）	11
2-2-5 浪江町への帰還時期（問17）	12
2-2-6 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること （問17-1）	12
2-2-7 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件 （問17-3）	13
2-2-8 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）	14
2-2-9 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・ 帰還しない理由（問18・問22）	15
2-2-10 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を 希望する自治体（問17-4・問23）	16
2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まい として希望する住居形態（問17-5・問20・問24）	17

2-2-12	帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係（問17-6（1）・問21（1）・問25（1））	18
2-2-13	帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援（問17-6（2）・問21（2）・問25（2））	19
2-3	不動産の取り扱い	20
2-3-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向（問28）	20
2-3-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向（問29）	20
III	調査結果	21
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-1-3	現在の職業（就業形態）	24
3-1-4	現在の業種	25
3-1-5	今後の就業意向	26
3-1-6	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）	26
3-1-7	今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種	27
3-2	東日本大震災発生時の状況	28
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	28
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	28
3-2-3	震災発生当時の住居形態	29
3-3	現在の状況	30
3-3-1	現在の居住自治体	30
3-3-2	現在の世帯構成・人数	31
3-3-3	現在の住居形態	32
3-4	将来の意向	33
3-4-1	浪江町への帰還意向	33
3-4-2	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること	37
3-4-3	浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容	38
3-4-4	浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕	39
3-4-5	浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕	39
3-4-6	回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由	40
3-4-7	浪江町へ帰還する場合の家族	41
3-4-8	浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数	42
3-4-9	浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態	42

3-4-10	浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由	43
3-4-11	浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区	43
3-4-12	浪江町への帰還時期	44
3-4-13	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること	45
3-4-14	浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと	46
3-4-15	浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件	47
3-4-16	浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体	48
3-4-17	浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態	48
3-4-18	浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係	49
3-4-19	浪江町に帰還するまでの間に必要な支援	49
3-4-20	浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由	50
3-4-21	浪江町への帰還を判断するために必要なこと	51
3-4-22	浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態	52
3-4-23	浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係	52
3-4-24	浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援	53
3-4-25	浪江町に帰還しない理由	54
3-4-26	浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）	55
3-4-27	浪江町へ帰還したいと思える業種	55
3-4-28	浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体	56
3-4-29	浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	56
3-4-30	浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係	57
3-4-31	浪江町に帰還しない場合に必要な支援	57
3-4-32	震災発生当時の居住地域に望む将来の姿	58
3-5	復興公営住宅	60
3-5-1	福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向	60
3-5-2	入居を希望する復興公営住宅の立地市町村	60
3-6	不動産の取り扱い意向	61
3-6-1	浪江町内に保有する家屋の利用意向	61
3-6-2	浪江町内に保有する宅地の利用意向	61
3-7	情報入手	62
3-7-1	浪江町からの情報の入手経路	62
3-7-2	浪江町役場からの情報提供に対する満足度	62

3-7-3	浪江町役場から欲しい情報	63
3-8	浪江町に対する思い	64
3-8-1	浪江町への誇り・愛着を持っているか	64
3-8-2	浪江町の自慢できるところ	64
3-9	意見・要望	65
3-9-1	意見に係る記入内容の分類結果	66
3-9-2	生活について	67
3-9-3	震災発生前の居住地について	68
3-9-4	賠償について	69
3-9-5	帰還について	71
3-9-6	避難期間中及び将来の住宅について	72
3-9-7	除染について	74
3-9-8	復旧・復興について	75
3-9-9	原発の安全性について	76
3-9-10	原発事故に対する対応について	77
3-9-11	その他	78
IV	参考資料	79
4-1	使用調査票	81

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた浪江町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	浪江町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 7,471 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和元年 10 月 15 日（火）～令和元年 10 月 29 日（火）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、浪江町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 3,546 世帯（有効回収率 47.5%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

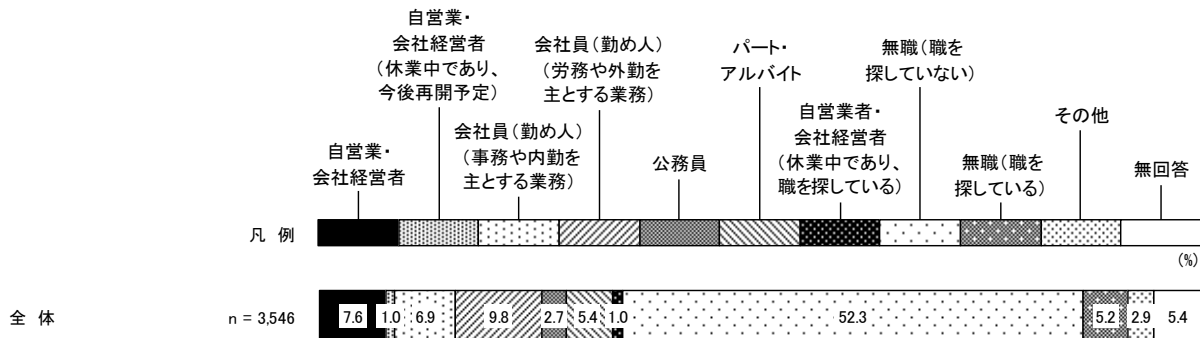
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が9.8%、「自営業・会社経営者」が7.6%と高くなっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

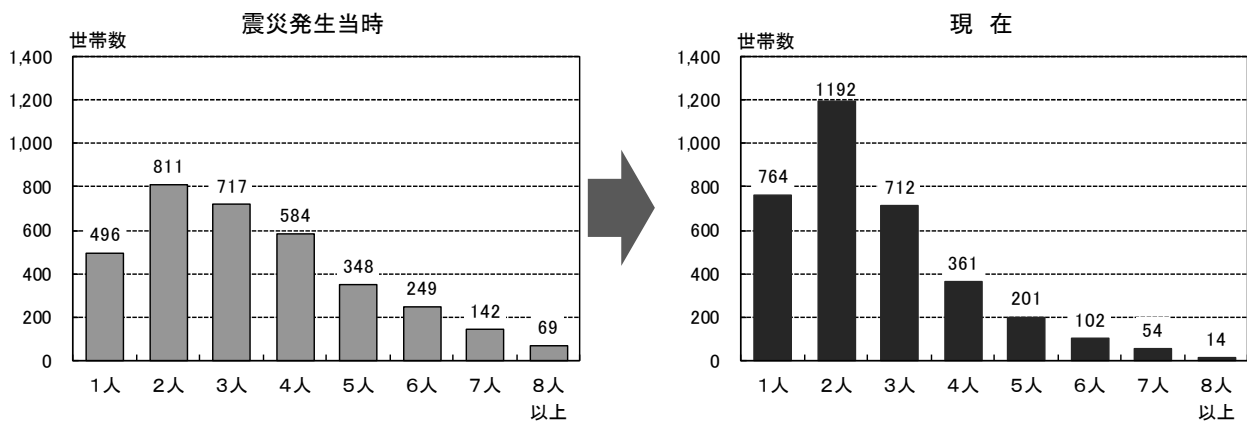


2-1-2 世帯人数（問4・問7）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が811世帯と最も多く、次いで「3人」が717世帯、「4人」が584世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が1192世帯と最も多く、次いで「1人」が764世帯、「3人」が712世帯となっている。

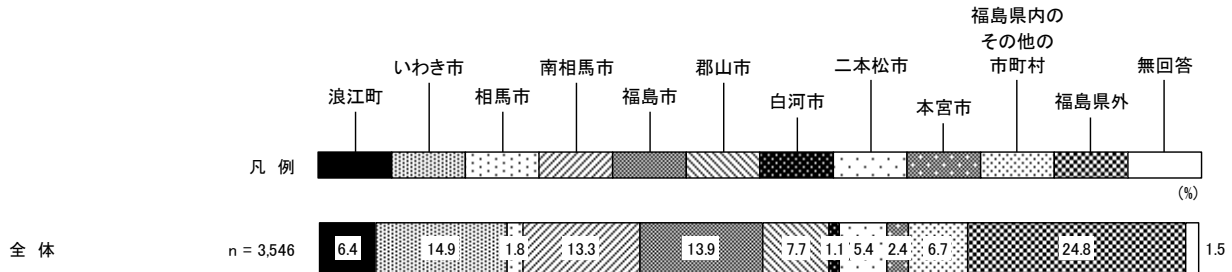
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の居住自治体（問6）

現在の居住自治体については、「福島県外」が24.8%と最も高く、次いで「いわき市」が14.9%、「福島市」が13.9%となっている。

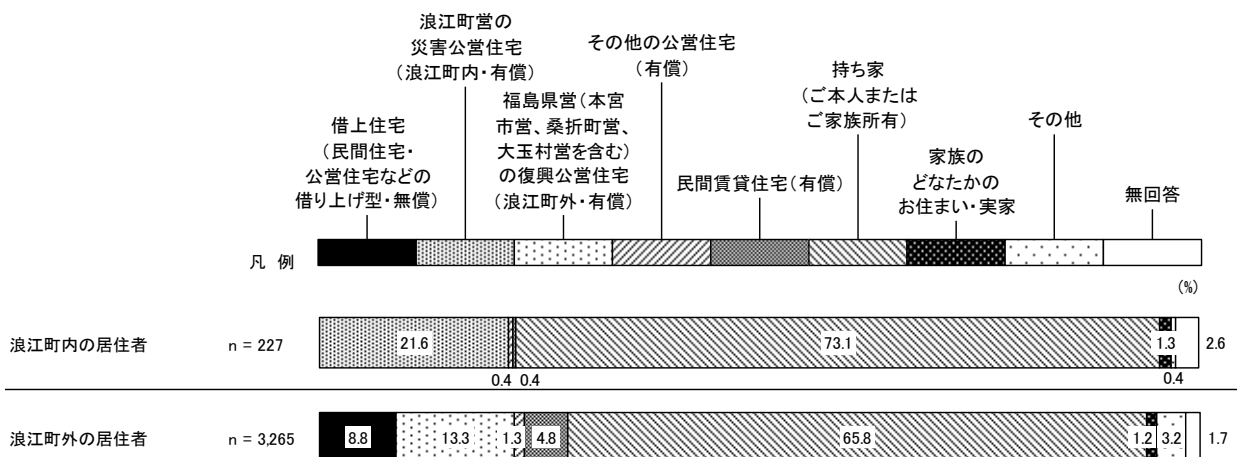
<図表2-1-3 現在の居住自治体>



2-1-4 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、浪江町内の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が73.1%と最も高く、次いで「浪江町営の災害公営住宅（浪江町内・有償）」が21.6%となっている。
 浪江町外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が65.8%と最も高く、次いで「福島県営（本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む）の復興公営住宅（浪江町外・有償）」が13.3%、「借上住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型・無償）」が8.8%となっている。

<図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住自治体別）>



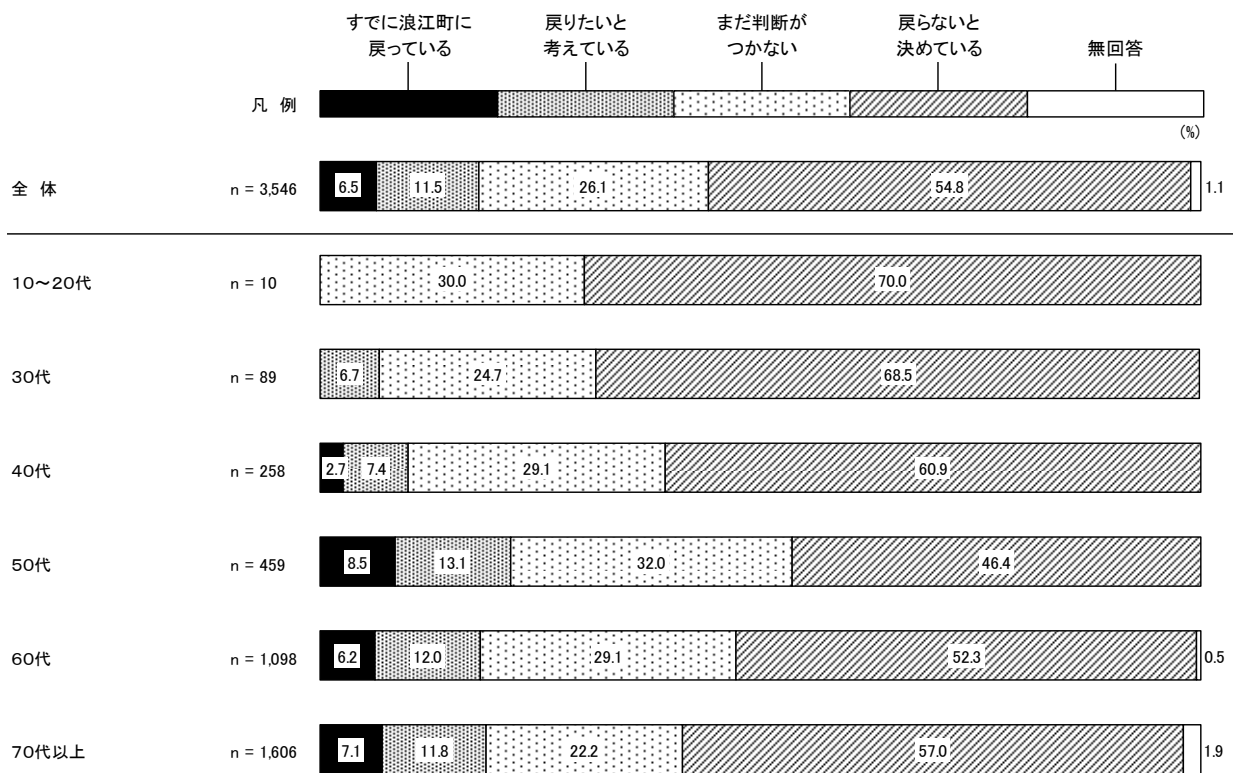
2-2 将来の意向

2-2-1 浪江町への帰還意向（問9）

浪江町への帰還意向については、「戻らないと決めている」が54.8%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が26.1%、「戻りたいと考えている」が11.5%、「すでに浪江町に戻っている」が6.5%となっている。

回答者の年齢別にみると、「すでに浪江町に戻っている」は高い年齢での割合が高く、50代で8.5%、60代で6.2%、70代以上で7.1%となっている。「戻りたいと考えている」についても同様に高い年齢での割合が高く、50代で13.1%、60代で12.0%、70代以上で11.8%となっている。一方、「戻らないと決めている」は30代以下の若い年齢で約7割となっている。

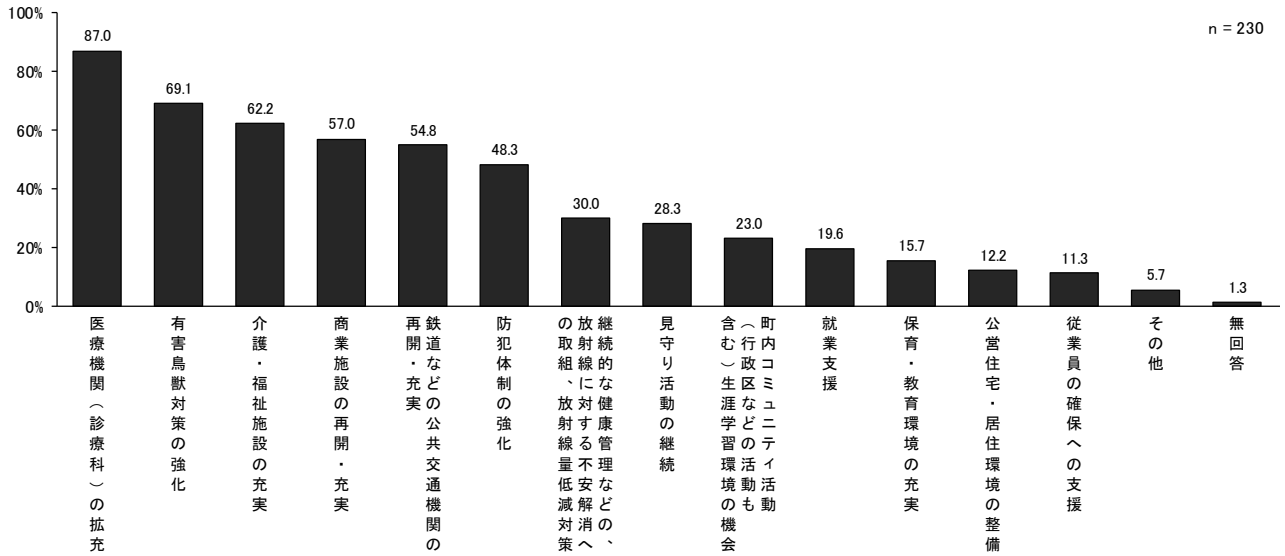
<図表2-2-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>



2-2-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（問10）

浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が87.0%と最も高く、次いで「有害鳥獣対策の強化」が69.1%、「介護・福祉施設の充実」が62.2%となっている。

<図表2-2-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること>

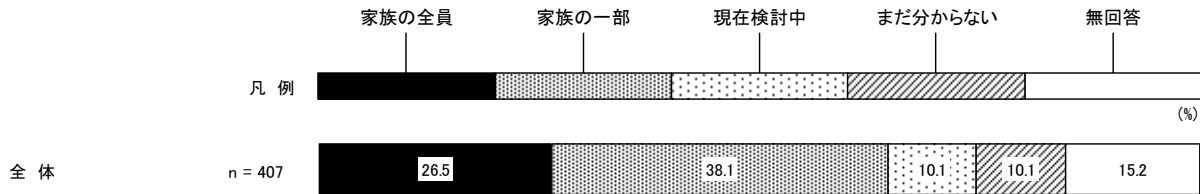


※問9で「すでに浪江町に戻っている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-3 浪江町へ帰還する場合の家族（問 15）

浪江町へ帰還する場合の家族については、「家族の一部」が38.1%と最も高く、次いで「家族の全員」が26.5%、「現在検討中」と「まだ分からない」がともに10.1%となっている。

＜図表2-2-3 浪江町へ帰還する場合の家族＞

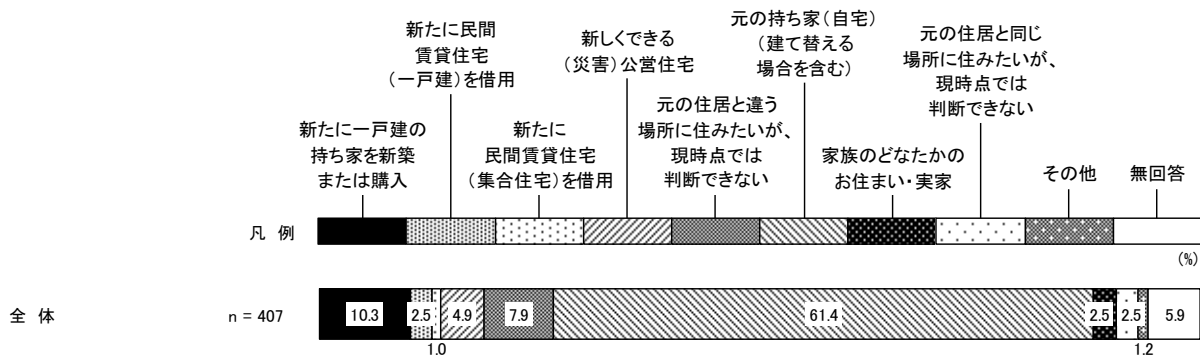


※問9で「戻りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-4 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 16）

浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が61.4%と最も高く、次いで「新たに一戸建の持ち家を新築または購入」が10.3%、「元の住居と違う場所に住みたいが、現時点では判断できない」が7.9%となっている。

＜図表2-2-4 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態＞

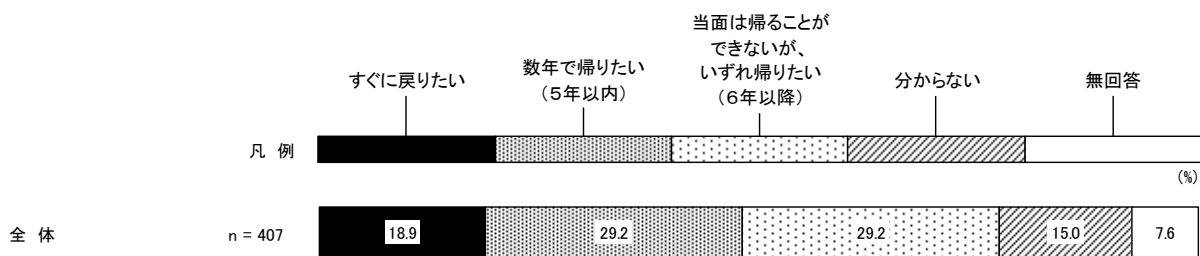


※問9で「戻りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-5 浪江町への帰還時期（問 17）

浪江町への帰還時期については、「数年で帰りたい（5年以内）」と「当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい（6年以降）」がともに29.2%、「すぐに帰りたい」が18.9%となっている。

<図表2-2-5 浪江町への帰還時期>

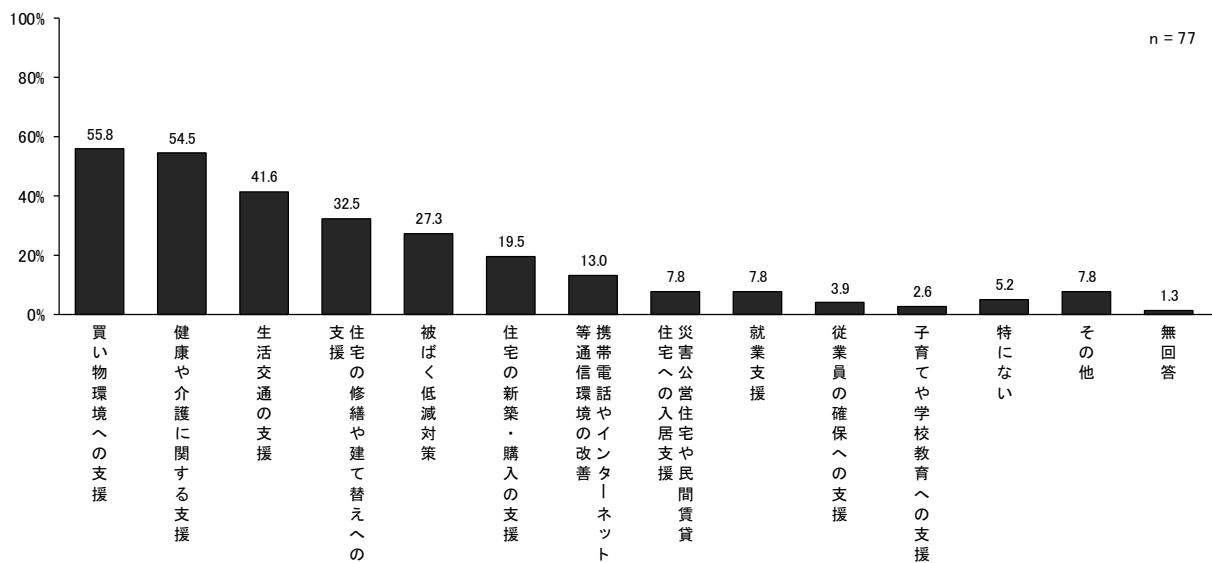


※問9で「帰りたいと考えている」と回答した方のみ

2-2-6 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること（問 17-1）

浪江町へ帰還する場合に不足していると感じることについては、「買い物環境への支援」が55.8%と最も高く、次いで「健康や介護に関する支援」が54.5%、「生活交通の支援」が41.6%となっている。

<図表2-2-6 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>

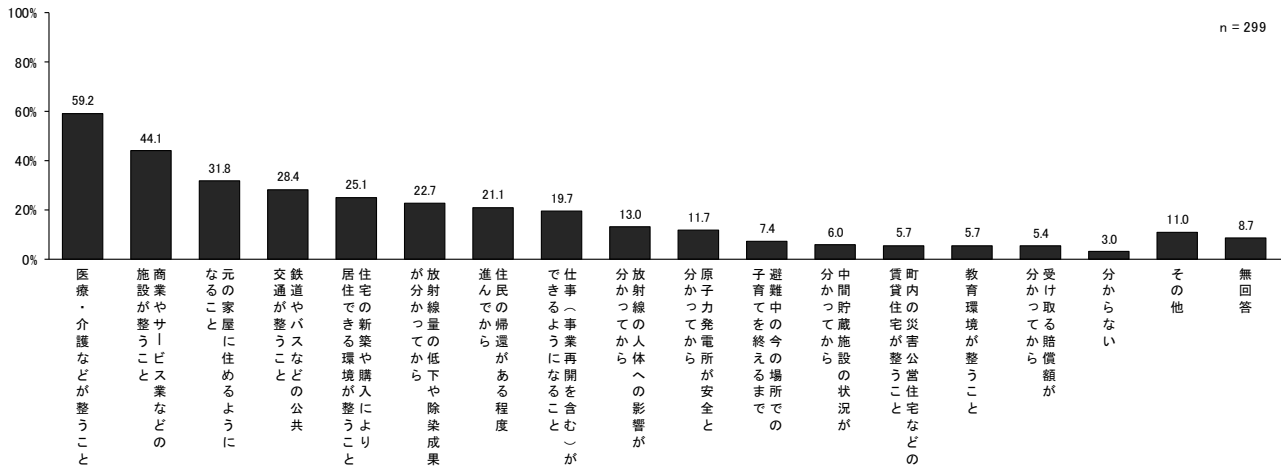


※問 17で「すぐに帰りたい」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-7 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件（問 17-3）

浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件については、「医療・介護などが整うこと」が59.2%と最も高く、次いで「商業やサービス業などの施設が整うこと」が44.1%、「元の家屋に住めるようになること」が31.8%となっている。

<図表2-2-7 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件>



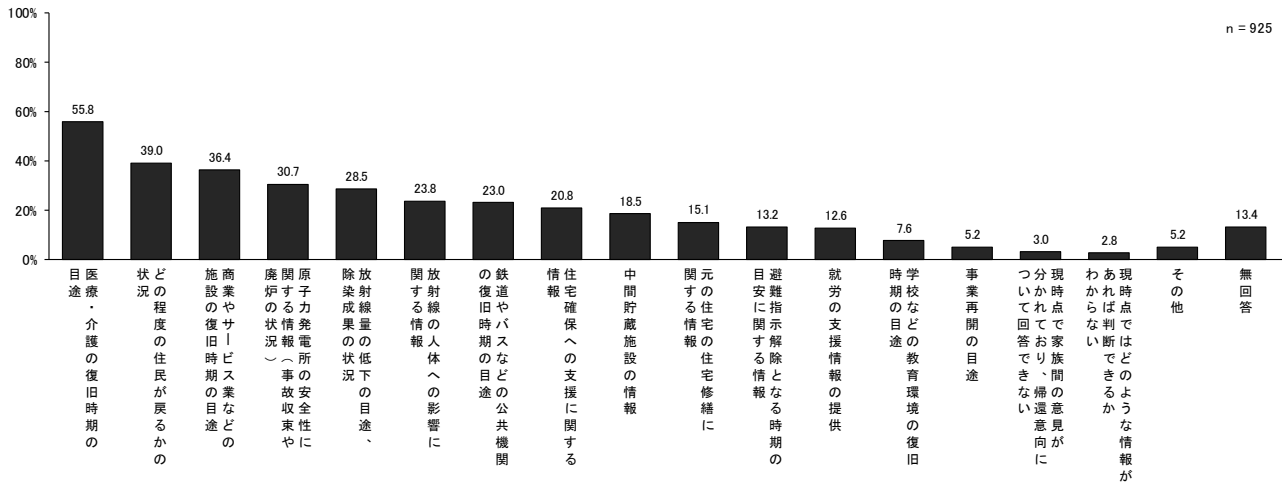
※問 17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

※複数回答可

2-2-8 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（問19）

浪江町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療・介護の復旧時期の目途」が55.8%と最も高く、次いで「どの程度の住民が戻るかの状況」が39.0%、「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」が36.4%となっている。

<図表2-2-8 浪江町への帰還を判断するために必要なこと>



※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

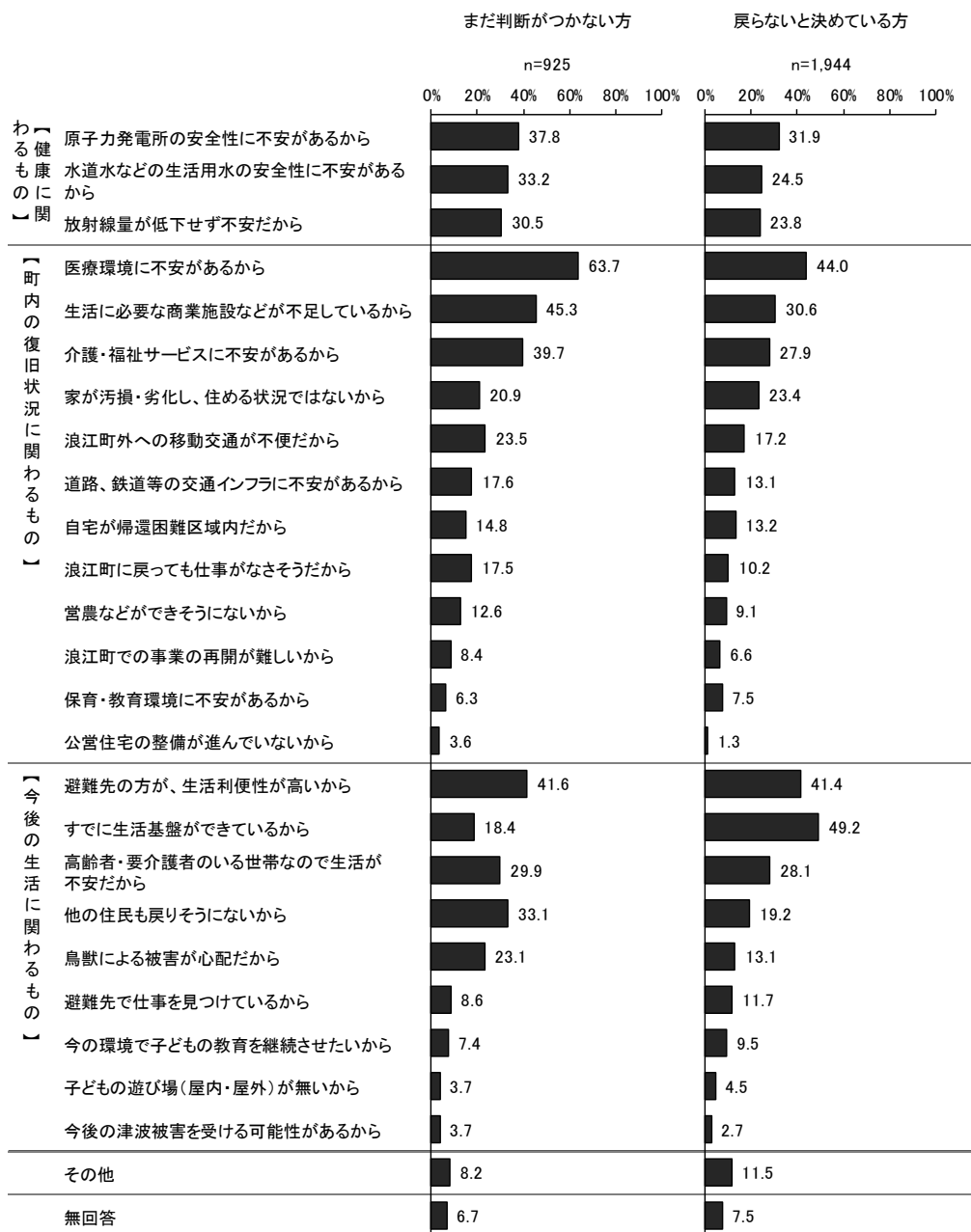
※複数回答可

2-2-9 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由
(問18・問22)

浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由は、「医療環境に不安があるから」が63.7%と最も高く、次いで「生活に必要な商業施設などが不足しているから」が45.3%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が41.6%となっている。

帰還しない理由は、「すでに生活基盤ができてきているから」が49.2%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が44.0%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が41.4%となっている。

<図表2-2-9 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由・帰還しない理由(浪江町への帰還意向別)>

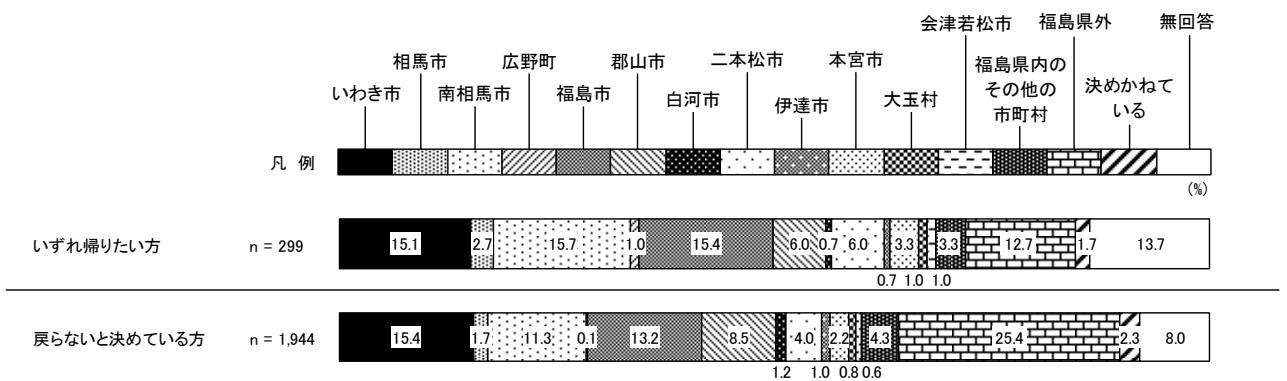


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-10 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体
(問 17-4・問 23)

帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体について、いずれ帰りたい方では、「南相馬市」が15.7%と最も高く、次いで「福島市」が15.4%、「いわき市」が15.1%となっている。
戻らないと決めている方では、「福島県外」が25.4%と最も高く、次いで「いわき市」が15.4%、「福島市」が13.2%となっている。

<図表2-2-10 帰還するまでの間または帰還しない場合に居住を希望する自治体（浪江町への帰還意向別）>

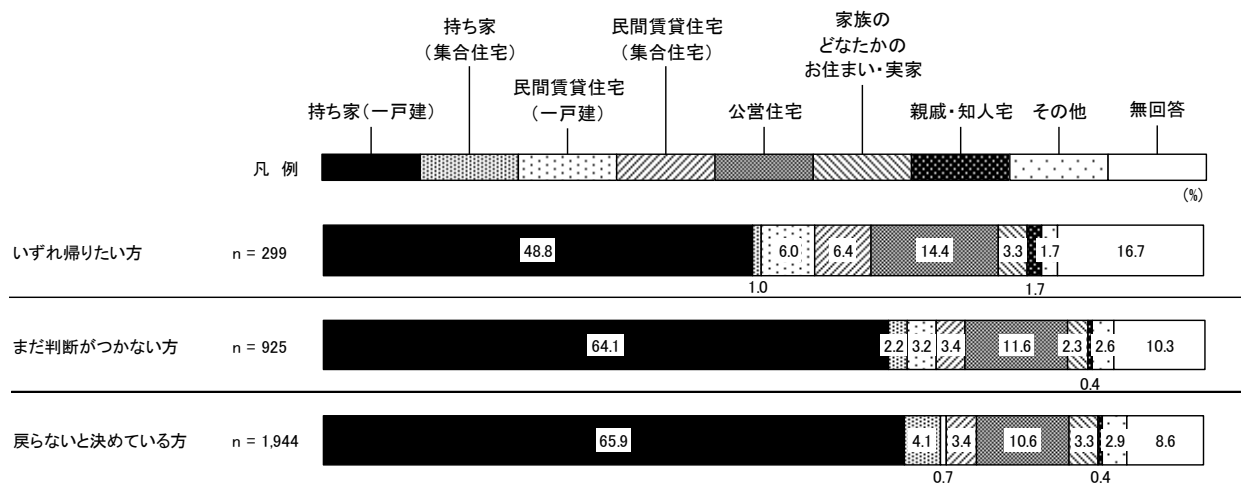


※問9で「戻らないと決めている」、問 17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 17-5・問 20・問 24）

帰還するまでの間または帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、どの帰還意向の方においても「持ち家（一戸建）」が約5～6割と最も高く、次いで「公営住宅」が約1割となっている。

＜図表2-2-11 帰還するまでの間または帰還しない場合に
今後の住まいとして希望する住居形態（浪江町への帰還意向別）＞

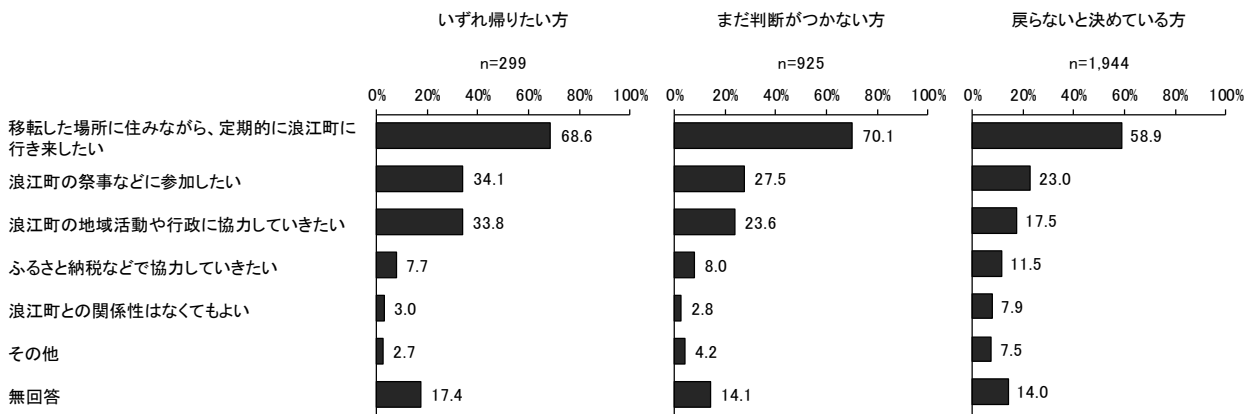


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問 17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ

2-2-12 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係
(問 17-6 (1)・問 21 (1)・問 25 (1))

帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係については、どの帰還意向の方においても「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が約6～7割と最も高く、次いで「浪江町の祭事などに参加したい」と「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が約2～3割となっている。

<図表2-2-12 帰還するまでの間または帰還しない場合の浪江町との関係（浪江町への帰還意向別）>

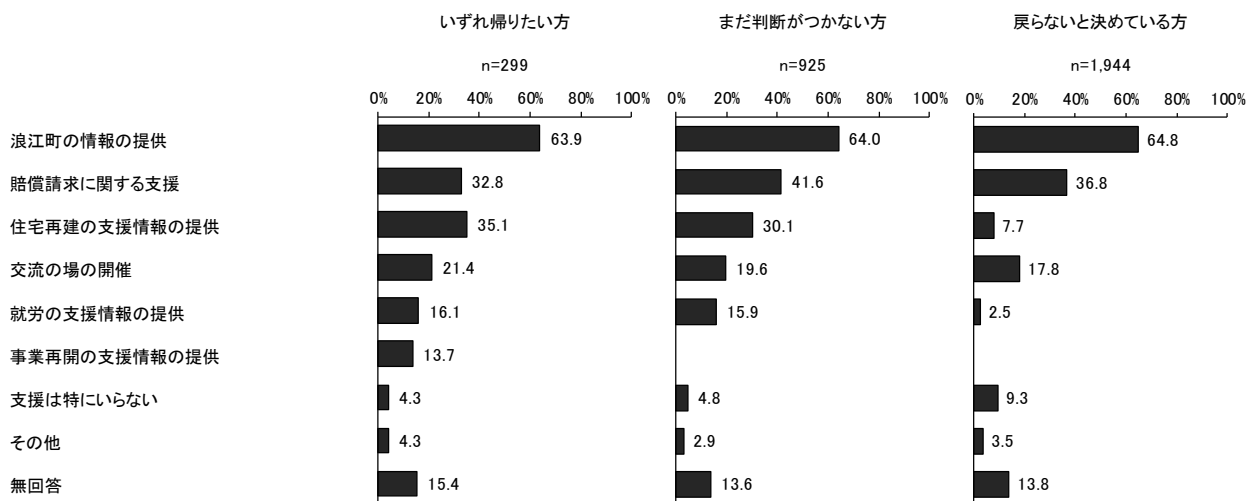


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問 17で「いずれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援 (問 17-6 (2)・問 21 (2)・問 25 (2))

帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援については、どの帰還意向の方においても「浪江町の情報の提供」が6割以上と最も高く、「賠償請求に関する支援」が約3～4割となっている。

<図表2-2-13 帰還するまでの間または帰還しない場合に必要な支援（浪江町への帰還意向別）>



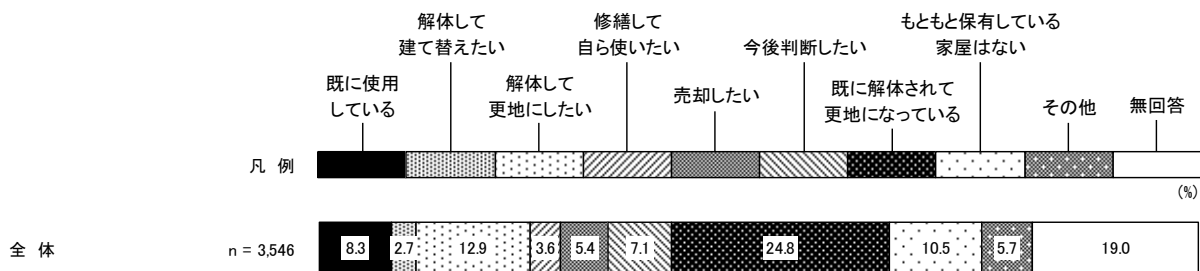
※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」、問 17で「いつれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いつれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ
 ※「事業再開の支援情報の提供」の選択肢は「いつれ帰りたい（数年で帰りたい・当面は帰ることができないが、いつれ帰りたい・分からない）」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-3 不動産の取り扱い

2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向（問 28）

浪江町内に保有する家屋の利用意向については、「既に解体されて更地になっている」が24.8%と最も高く、次いで「解体して更地にしたい」が12.9%、「もともと保有している家屋はない」が10.5%となっている。

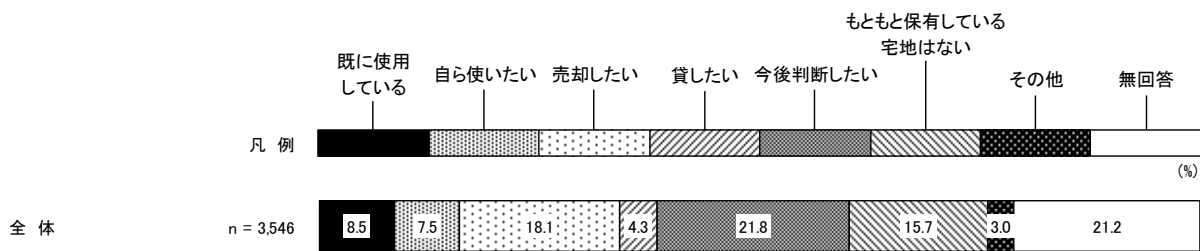
<図表2-3-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向（問 29）

浪江町内に保有する宅地の利用意向については、「今後判断したい」が21.8%と最も高く、次いで「売却したい」が18.1%、「もともと保有している宅地はない」が15.7%となっている。

<図表2-3-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>



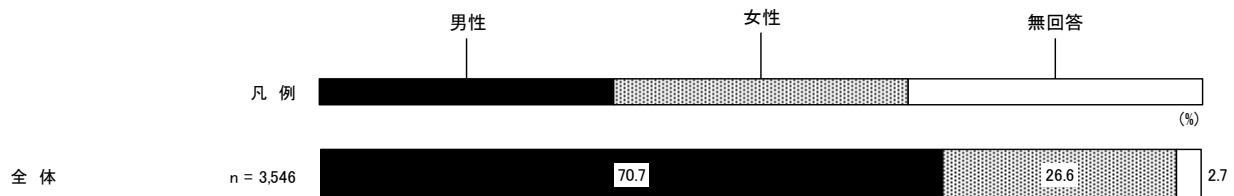
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
 (1) 性別 (〇は1つ)

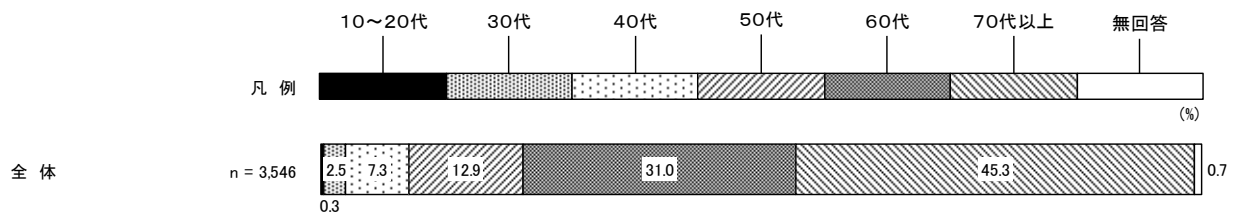
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
 (2) 年齢 (〇は1つ)

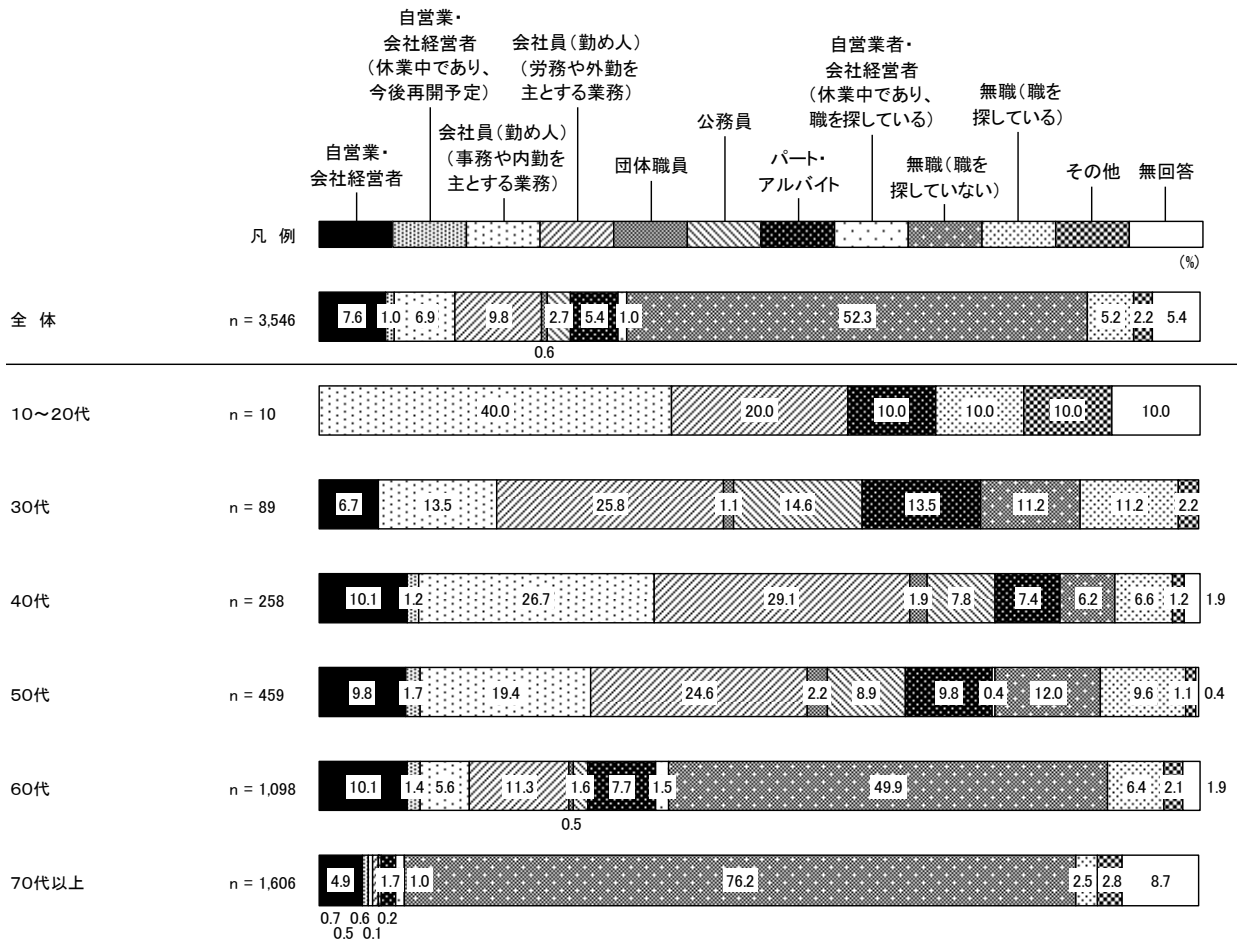
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。仕事に就いていない方は、今後の就業意向も教えてください。
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。
 (1) 就業形態（○は1つ）

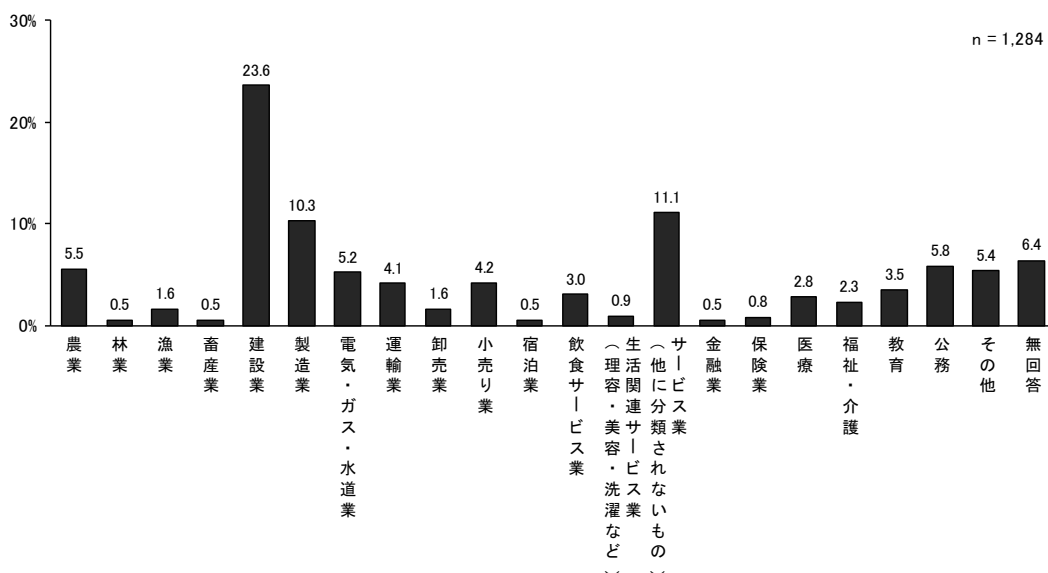
<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-1-4 現在の業種

【問2(1)で「1」～「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】
 問2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。仕事に就いていない方は、今後の就業意向も教えてください。
 なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。
 (2) 業種 (〇は1つ)

<図表3-1-4-1 現在の業種>



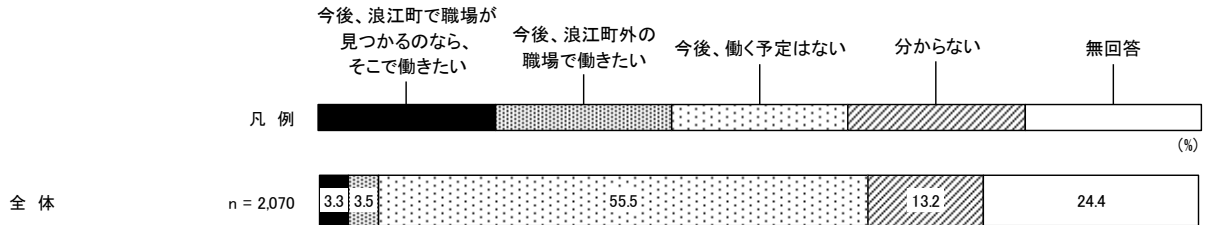
<図表3-1-4-2 現在の業種（年齢別）>

	n	農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	(生活関連サービス業 （理容・美容・洗濯など）	サービス業（他に分類されないもの）	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
全体	1,284	5.5	0.5	1.6	0.5	23.6	10.3	5.2	4.1	1.6	4.2	0.5	3.0	0.9	11.1	0.5	0.8	2.8	2.3	3.5	5.8	5.4	6.4
10~20代	8	-	-	-	-	12.5	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	12.5
30代	69	1.4	-	-	-	14.5	7.2	11.6	5.8	-	7.2	-	4.3	1.4	10.1	-	-	4.3	2.9	7.2	13.0	7.2	1.4
40代	220	0.9	-	1.4	-	22.3	17.3	4.5	7.3	2.7	4.1	1.8	5.0	0.9	5.5	1.8	0.9	5.5	3.6	5.0	5.0	1.8	2.7
50代	356	1.7	0.8	2.0	0.6	19.7	15.2	8.1	3.4	1.7	4.2	0.3	0.3	0.3	13.2	0.6	0.8	2.0	2.5	5.3	9.0	4.2	4.2
60代	443	7.9	0.9	1.6	0.9	31.4	5.4	4.1	3.2	1.6	2.9	0.2	3.8	1.1	12.4	0.2	0.7	1.6	1.8	1.6	4.1	6.8	5.9
70代以上	187	13.9	-	2.1	-	17.6	4.8	1.1	3.7	1.1	6.4	0.5	3.2	1.1	10.2	-	1.1	2.7	1.1	1.6	2.1	8.0	17.6

3-1-5 今後の就業意向

【問2(1)で「8」～「10」と回答した方にうかがいます。】
 問2-1 今後の就業意向を教えてください。(〇は1つ)

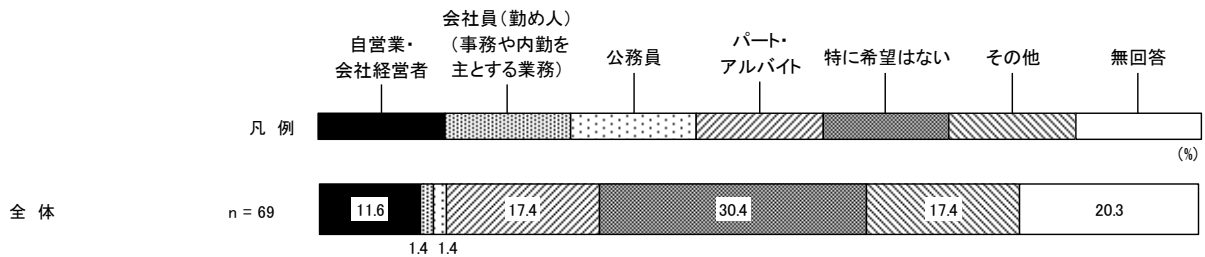
<図表3-1-5 今後の就業意向>



3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）

【問2-1で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】
 問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。
 (1) 就業形態 (〇は1つ)

<図表3-1-6 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する職業（就業形態）>



〔その他の内訳〕
 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務） -
 団体職員 -
 その他 17.4%

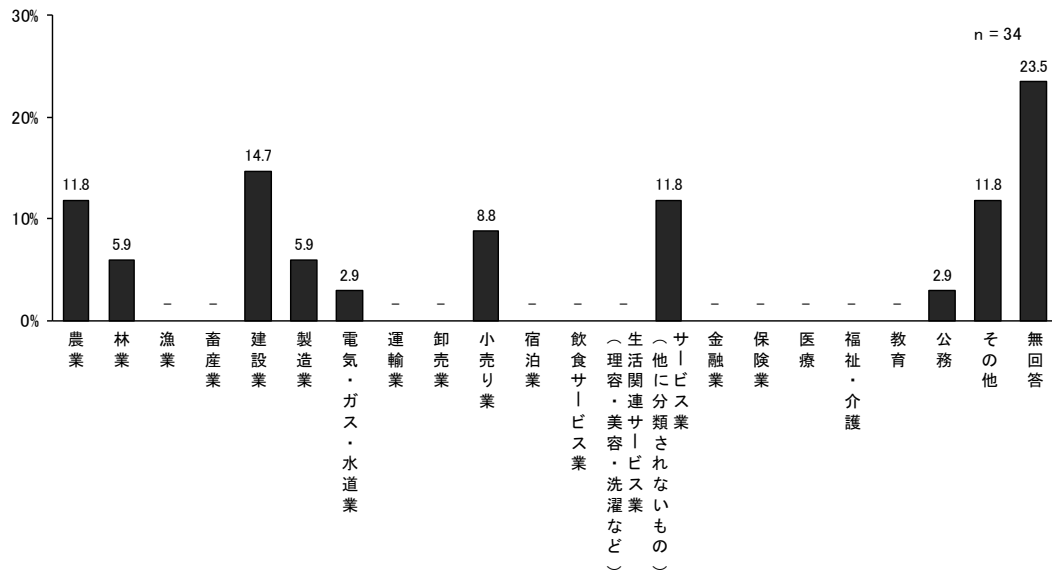
3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種

【問2-2(1)で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

問2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(2) 業種 (〇は1つ)

<図表3-1-7 今後、浪江町で職場が見つかるならば希望する業種>

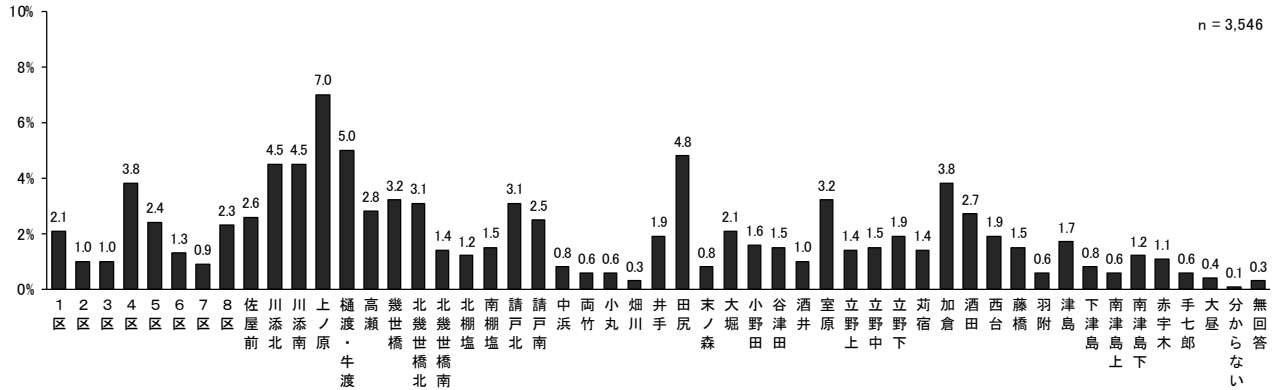


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

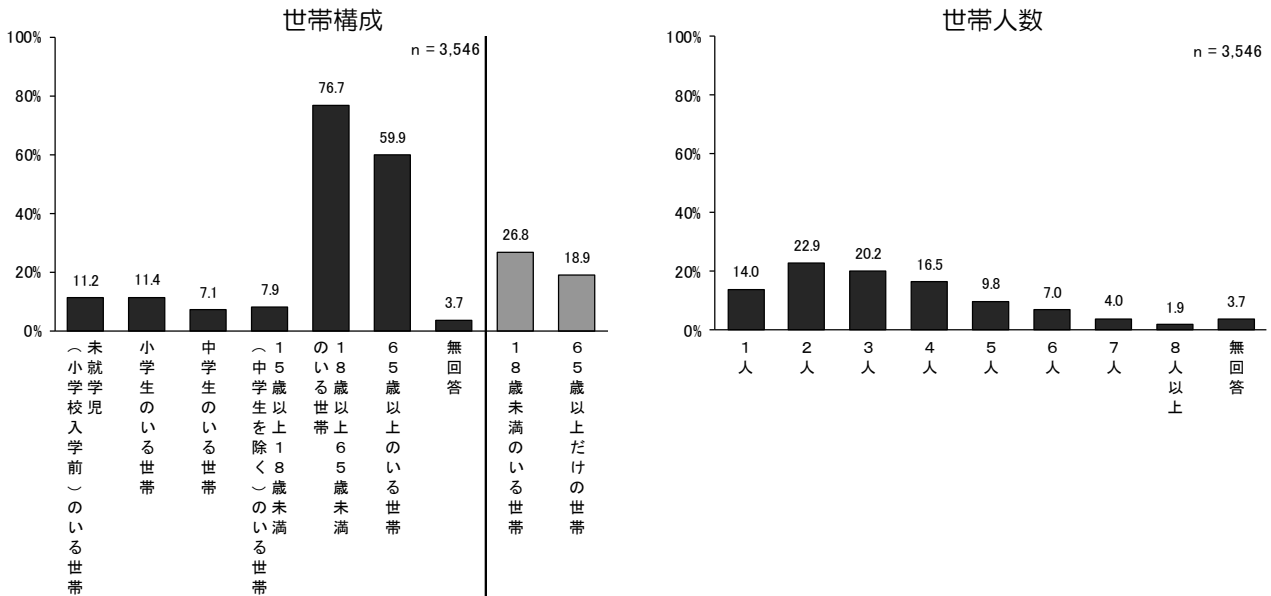
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、当時の年齢・学年にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>

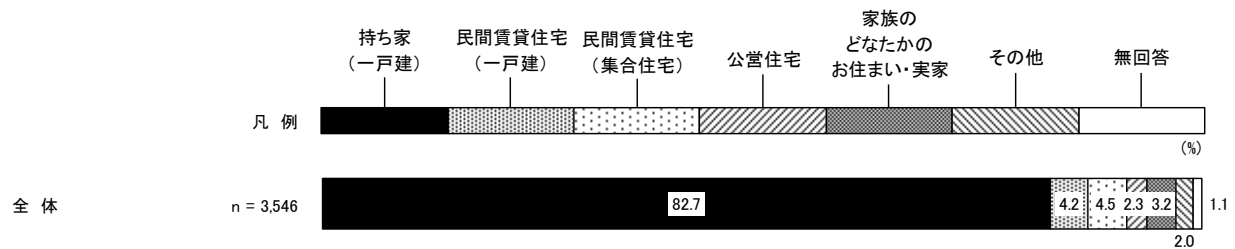


*集計結果を基に再集計

3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

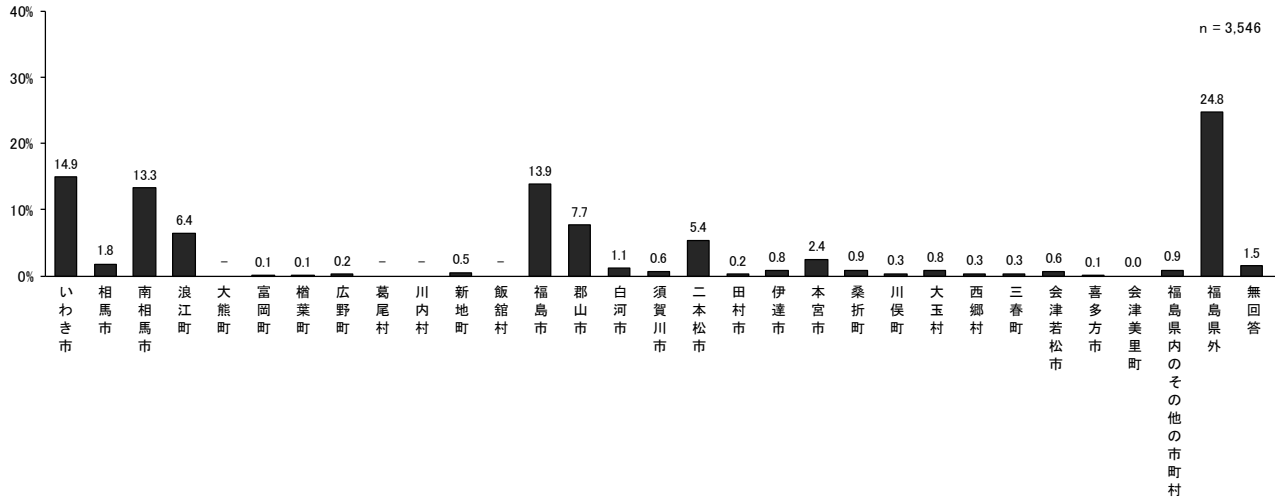
持ち家 (集合住宅)	0.4%
給与住宅 (社宅、公務員宿舎など)	0.9%
親戚・知人宅	0.4%
その他	0.3%

3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住自治体

問6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(〇は1つ)

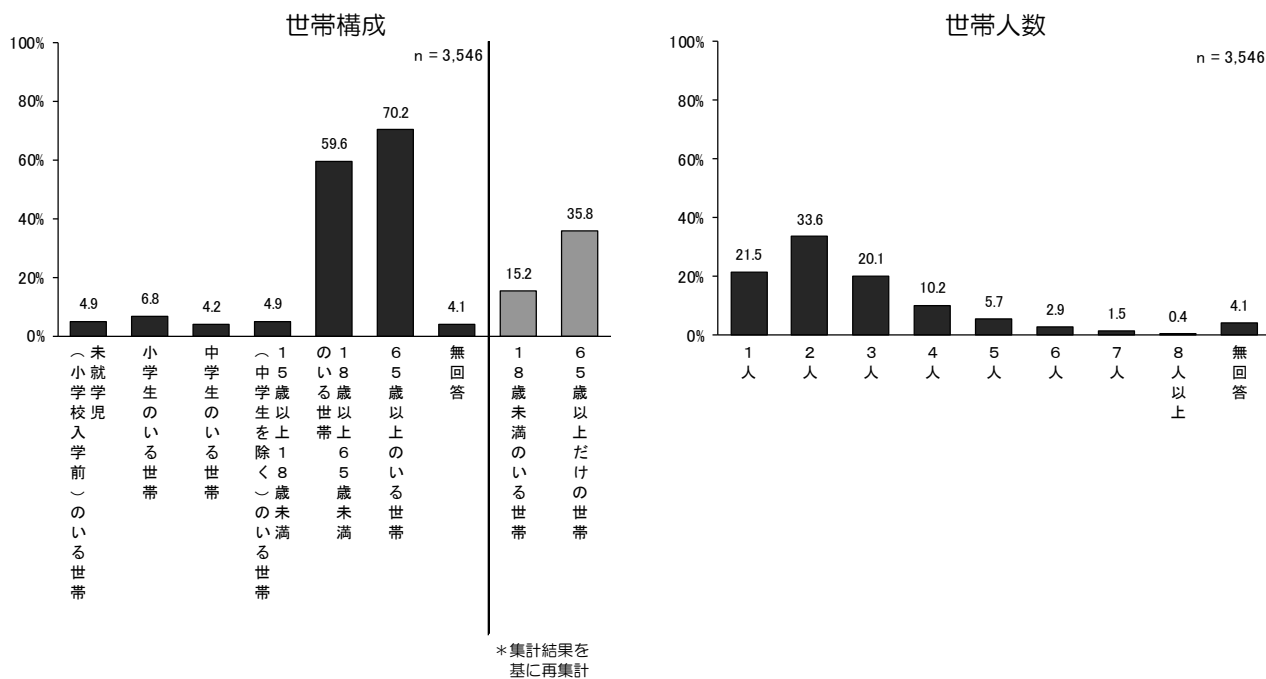
<図表3-3-1 現在の居住自治体>



3-3-2 現在の世帯構成・人数

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

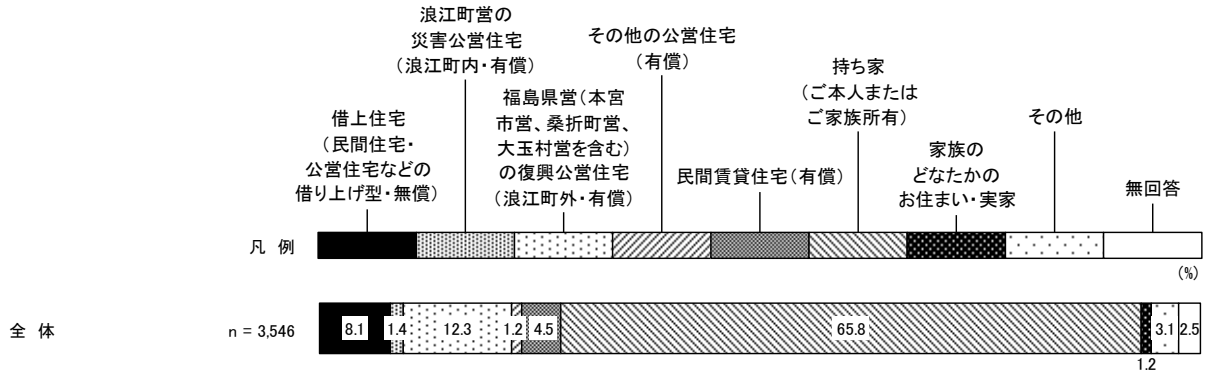
<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

<図表3-3-3 現在の住居形態>



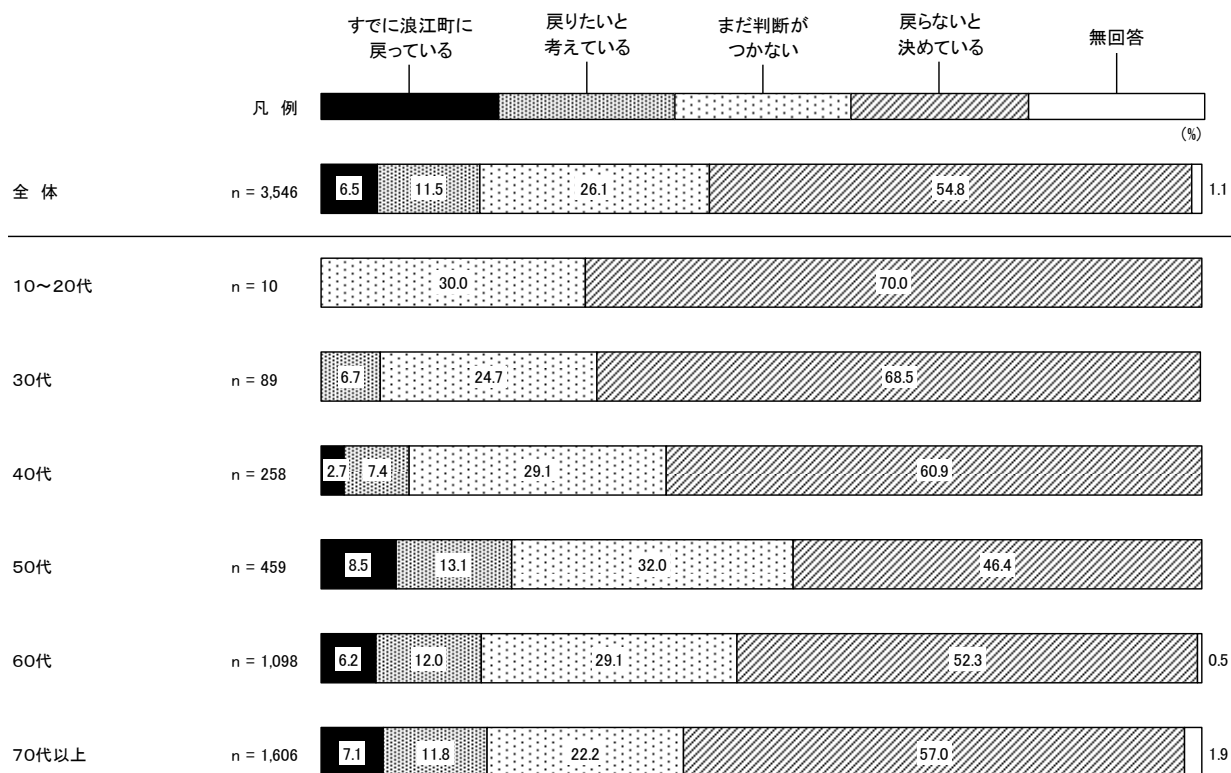
- 〔その他の内訳〕
- 応急仮設住宅 (プレハブ型・無償) 0.1%
 - 給与住宅 (社宅、公務員宿舎など) 0.7%
 - 親戚・知人宅 0.6%
 - その他 1.7%

3-4 将来の意向

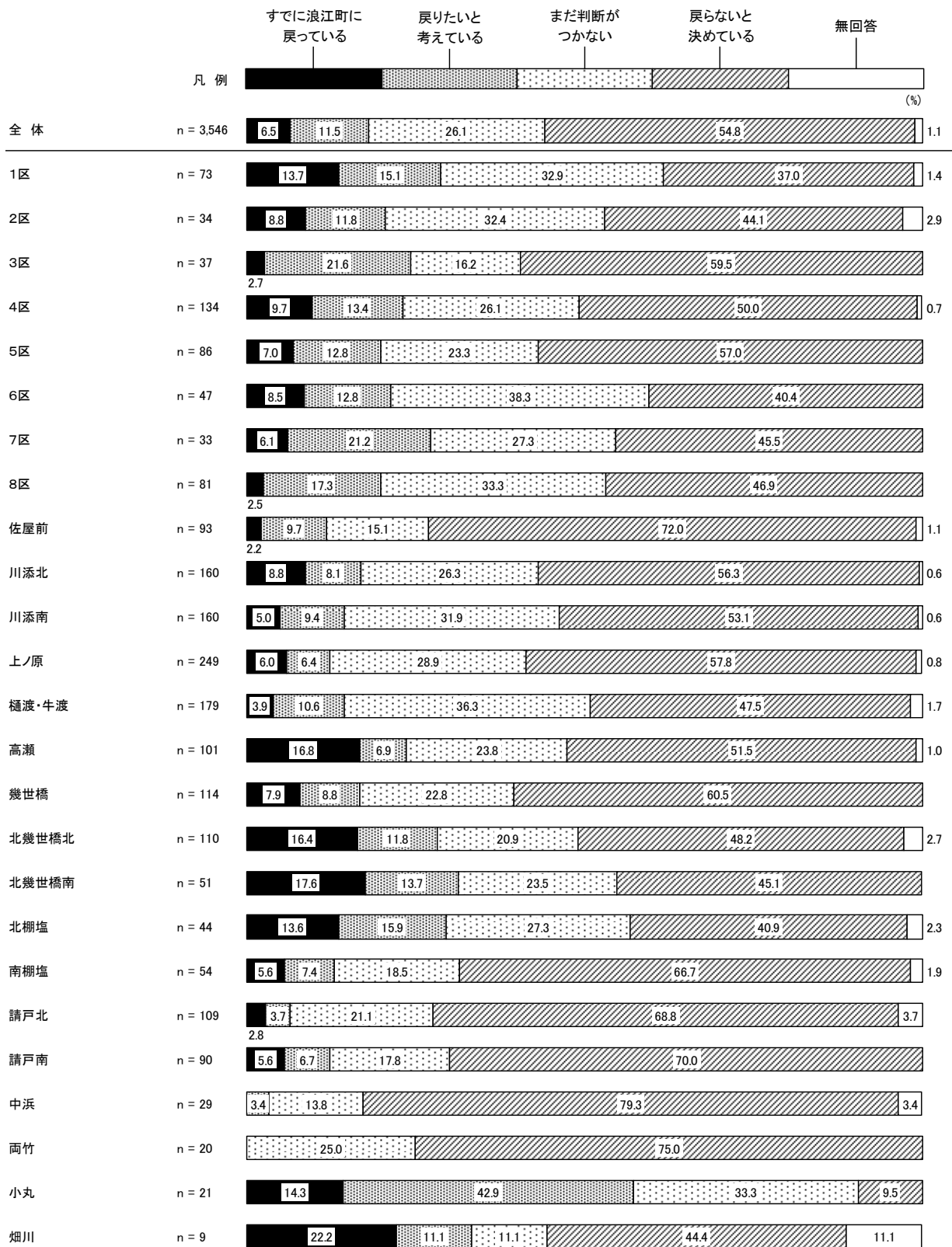
3-4-1 浪江町への帰還意向

問9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。
「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(〇は1つ)

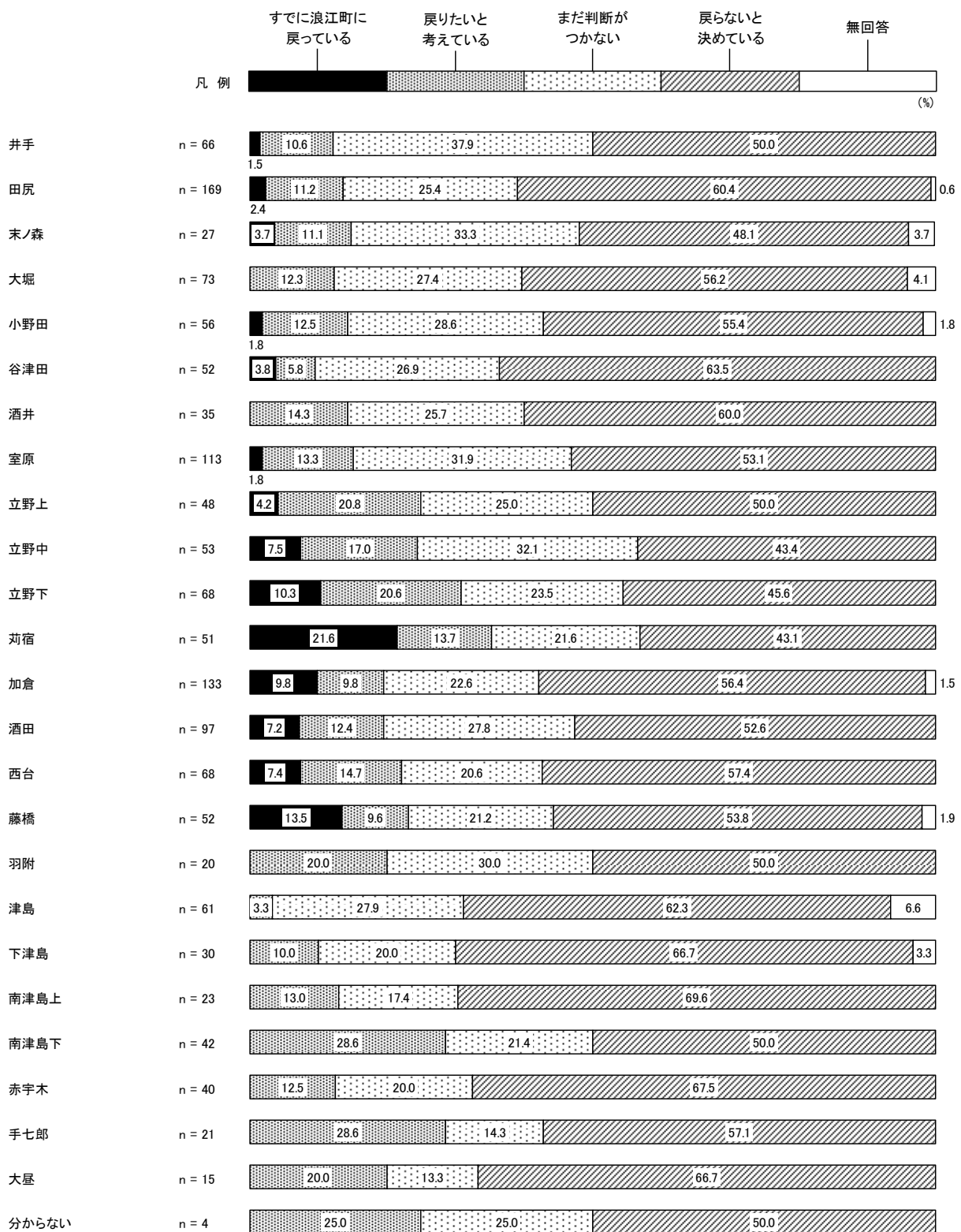
<図表3-4-1-1 浪江町への帰還意向（年齢別）>



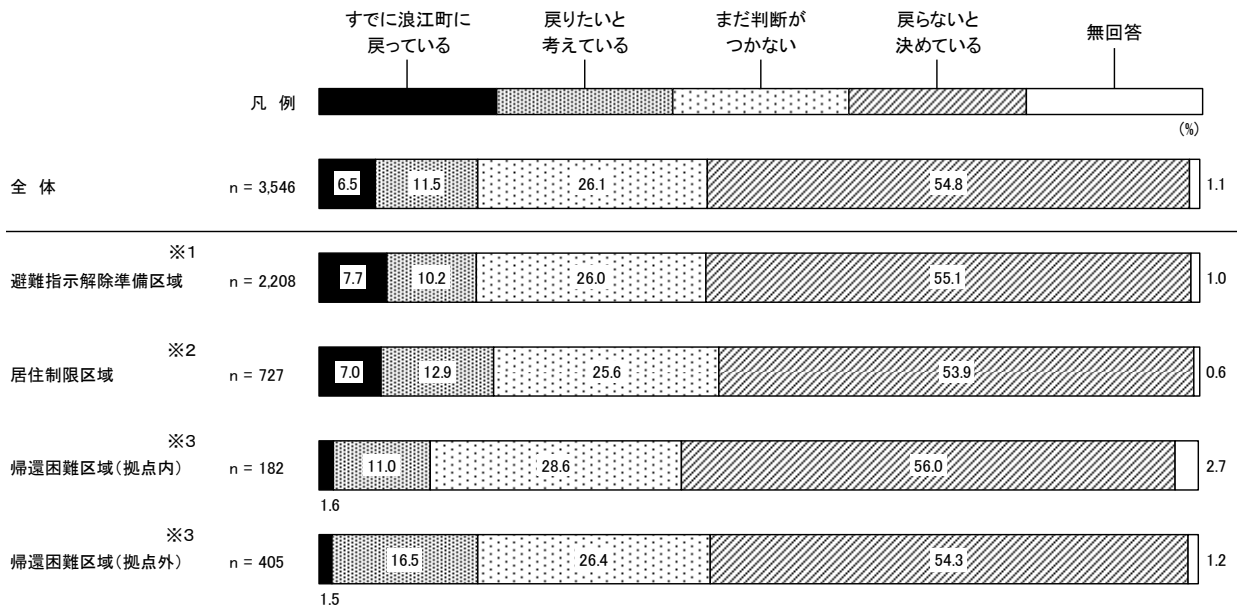
<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



<図表3-4-1-3 浪江町への帰還意向(避難指示区域別)>

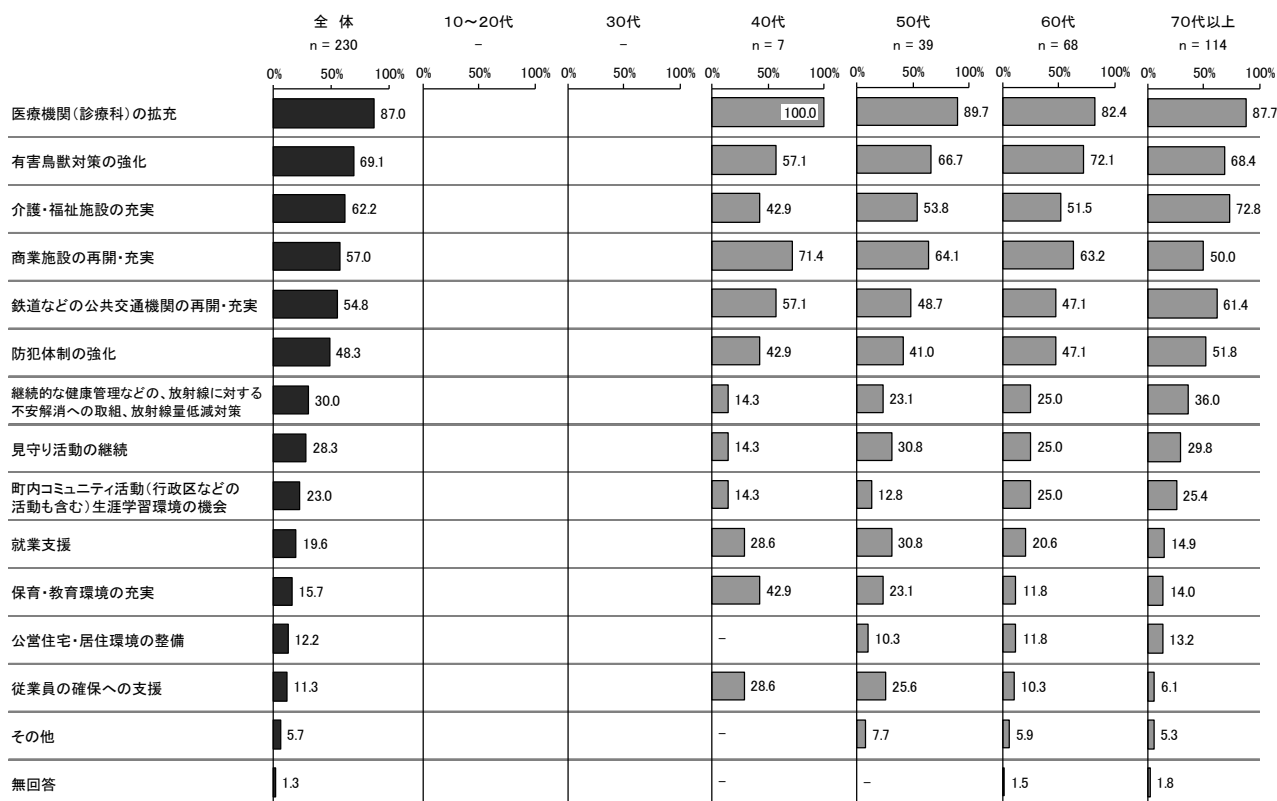


※1 平成29年3月31日に避難指示解除済み
 ※2 平成29年3月31日に避難指示解除済み
 ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問9で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】
 問10 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること(年齢別)>



3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容

【問9で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】
問11 問10で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

<浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な内容（上位項目の主な意見）>

[医療機関（診療科）の拡充]

- いわきを除いて浜通りはどこも同じだが医師が少なすぎる。（40代）
- 専門医療が無い（歯科、皮膚科、眼科等）。（50代）
- 入院機能を持つ地域中核病院設置。（60代）
- 他の市町村に行かなくて済むように総合病院がほしい。（60代）
- 町外に通っている。遠い為1人で行く事が出来ない。（70代以上）

[有害鳥獣対策の強化]

- イノシシがそこらじゅうにいる。捕獲して減らして欲しい。（40代）
- 空き家が点在していて、雑草や木が生い茂り、猿やイノシシが出入りして危険を感じる。個人的にも爆竹などで威嚇しているが、追いつかない。町でも捕獲に力を入れていただきたい。（50代）
- 畑で折角、野菜作りをしても、鳥獣に荒らされてしまい、やる気が失せてしまいます。震災前は、獣など出て来なかったのに対し、現在は異常を感じています。（60代）
- 野菜作りをしているが猪が出るのでサツマイモやとろろ芋が作れない。（70代以上）
- 猪の足跡が毎日の様に残っていて、怖いです。（70代以上）

[介護・福祉施設の充実]

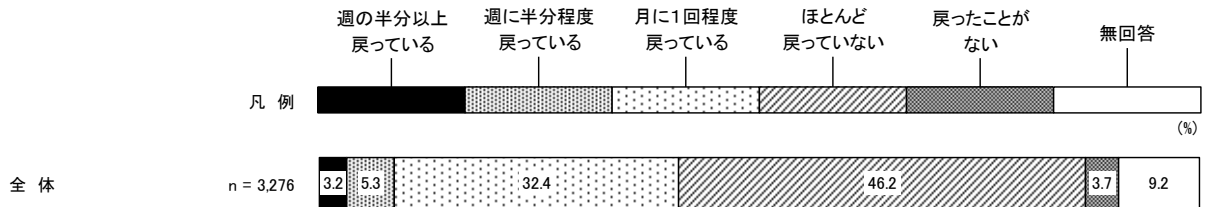
- 高齢の両親が同居しているため、今後介護するようになったらどうすればよいか、わからない。（50代）
- 町内に福祉施設をつくってほしい（障がい者のための）。（60代）
- 動けなくなった時の施設が欲しい。（60代）
- 介護を必要としているので、ショートステイなど施設がほしい。（70代以上）
- 浪江町にもデイサービスがほしい。（70代以上）

3-4-4 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。(〇は1つ)

<図表3-4-4 浪江町に戻る頻度〔回答者ご自身〕>

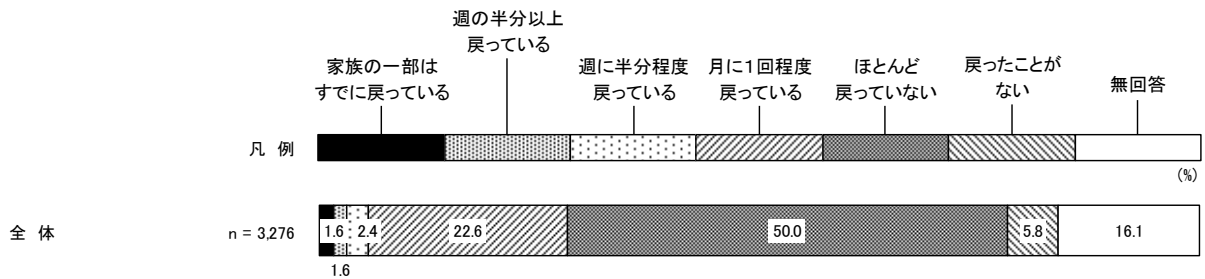


3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。(〇は1つ)

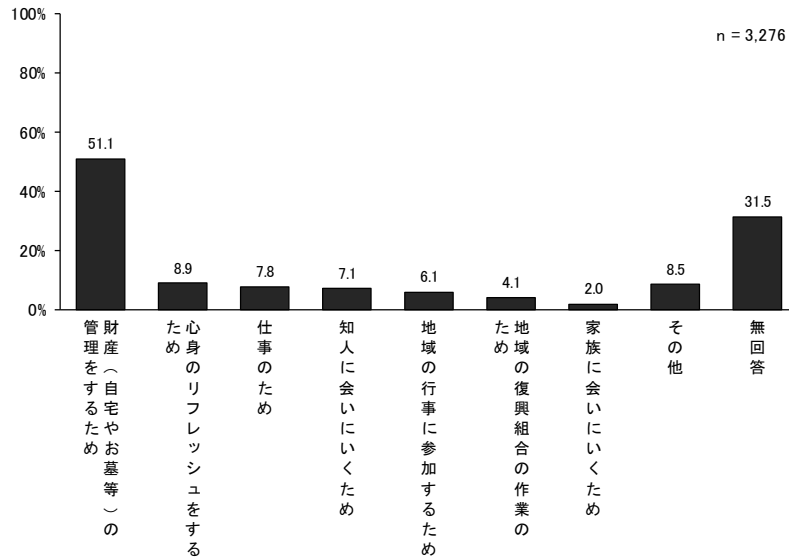
<図表3-4-5 浪江町に戻る頻度〔回答者のご家族〕>



3-4-6 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】
 問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻る理由は何ですか。(〇はいくつでも)

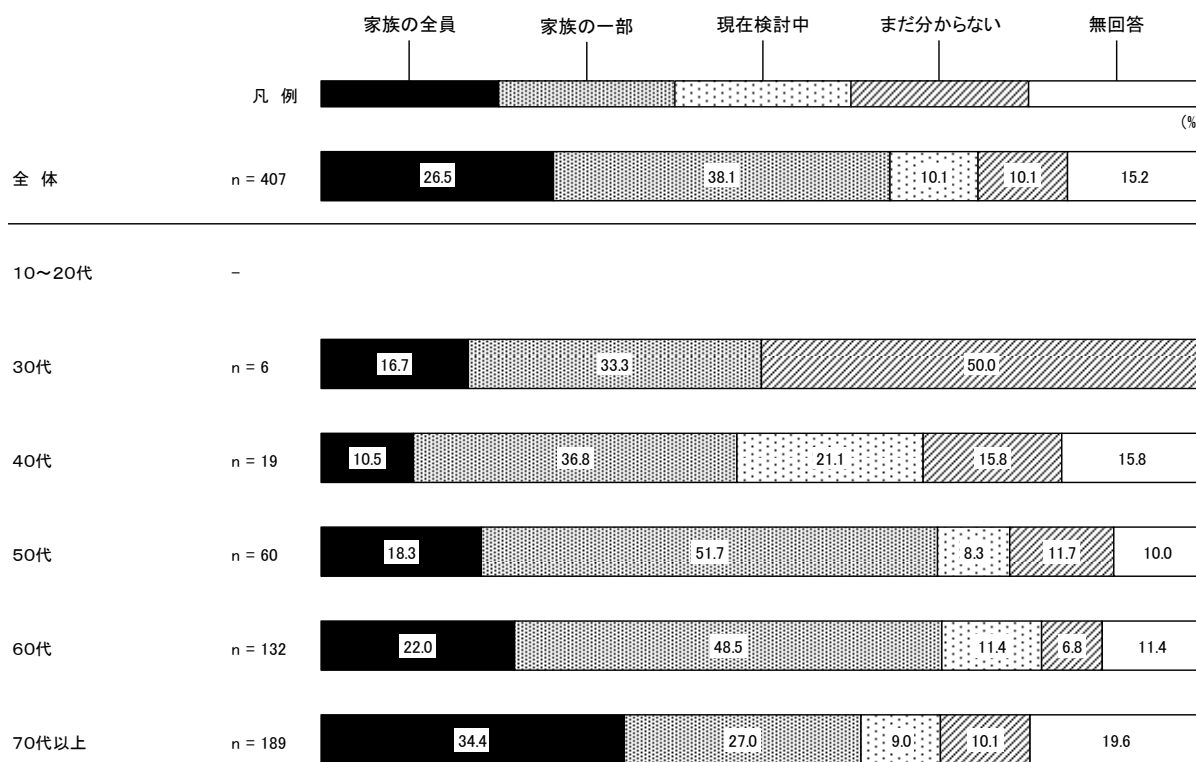
<図表3-4-6 回答者またはその家族が浪江町に定期的に戻る理由>



3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族

【問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】
 問15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(〇は1つ)

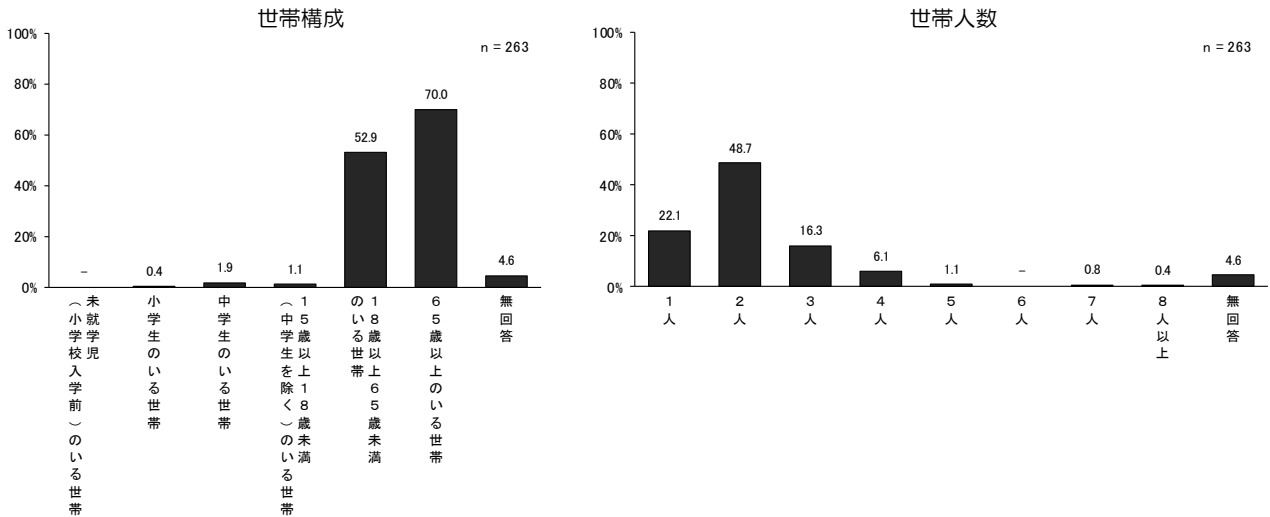
<図表3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族(年齢別)>



3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数

【問 15 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】
 問 15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

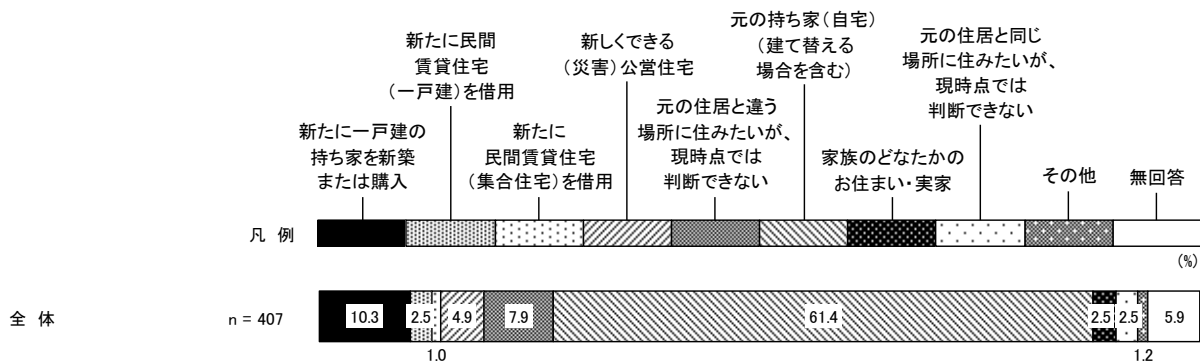
<図表3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数>



3-4-9 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】
 問 16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

<図表3-4-9 浪江町へ帰還した場合に希望する住居形態>



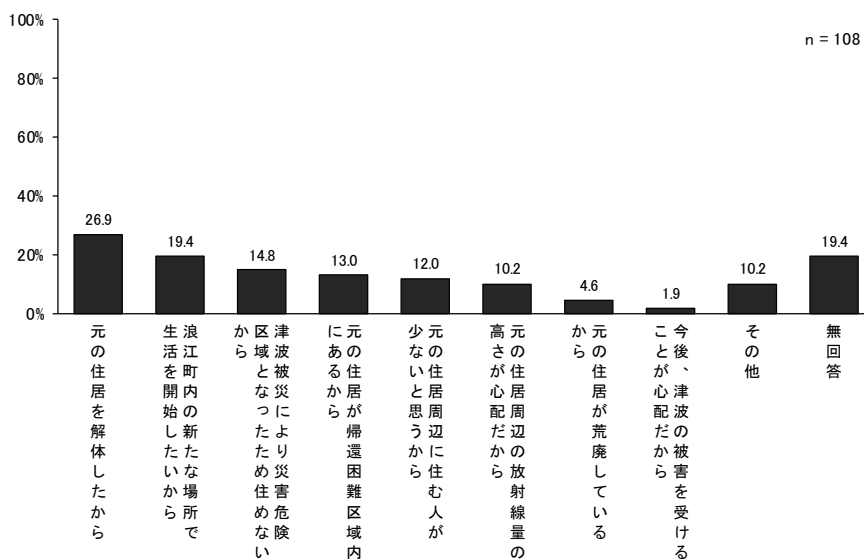
〔その他の内訳〕

元の民間賃貸住宅(一戸建)	-
元の民間賃貸住宅(集合住宅)	0.2%
元の給与住宅(社宅など)	-
親戚・知人宅	0.2%
その他	0.7%

3-4-10 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】
 問 16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

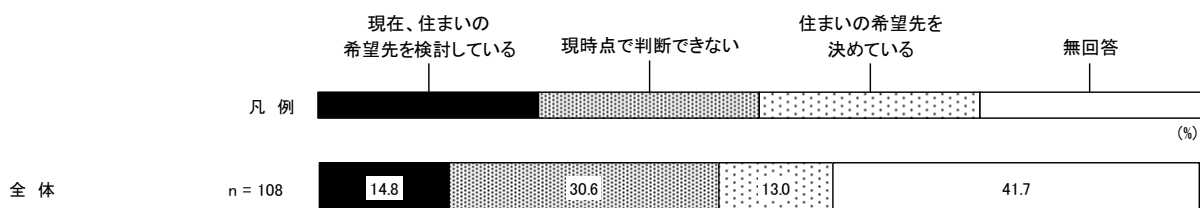
<図表3-4-10 浪江町へ帰還した場合に元の住居と違う場所を希望する理由>



3-4-11 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】
 問 16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(〇は1つ)

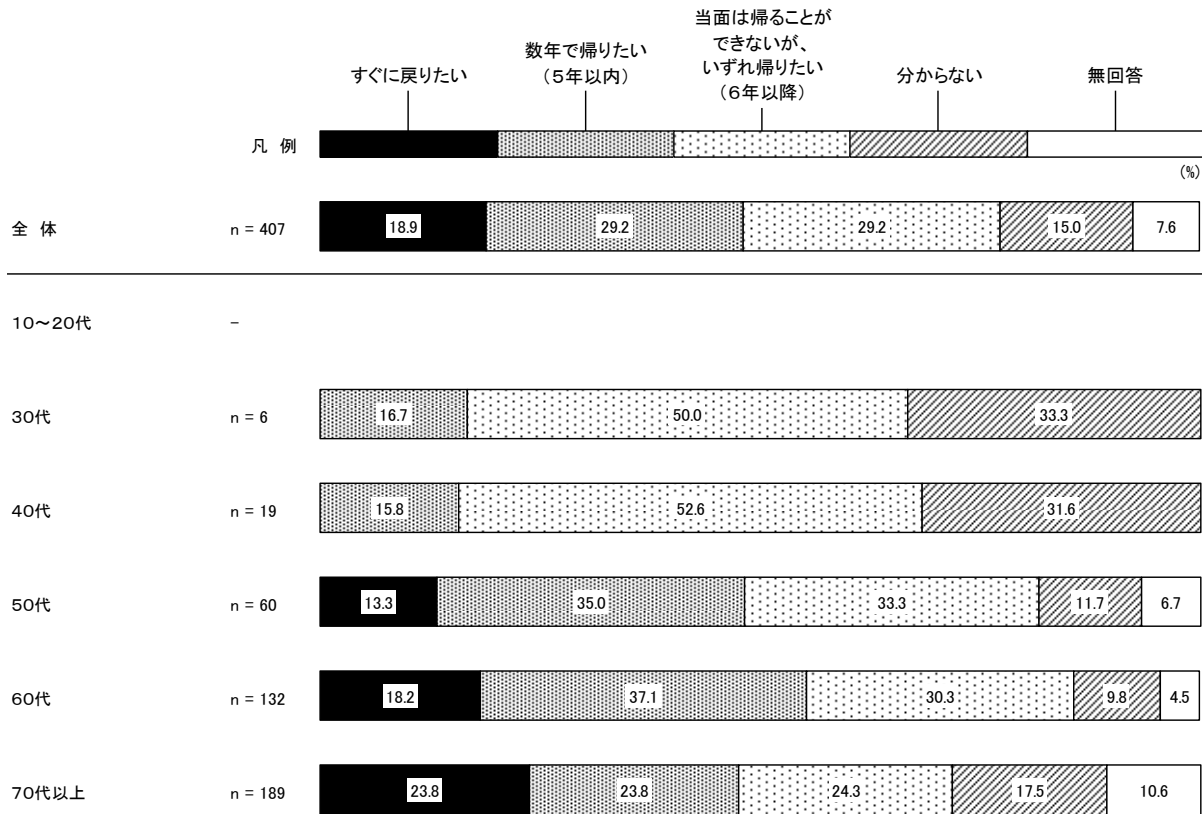
<図表3-4-11 浪江町へ帰還して元の住居と違う場所に住む場合に希望する地区>



3-4-12 浪江町への帰還時期

【問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。
問17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(〇は1つ)

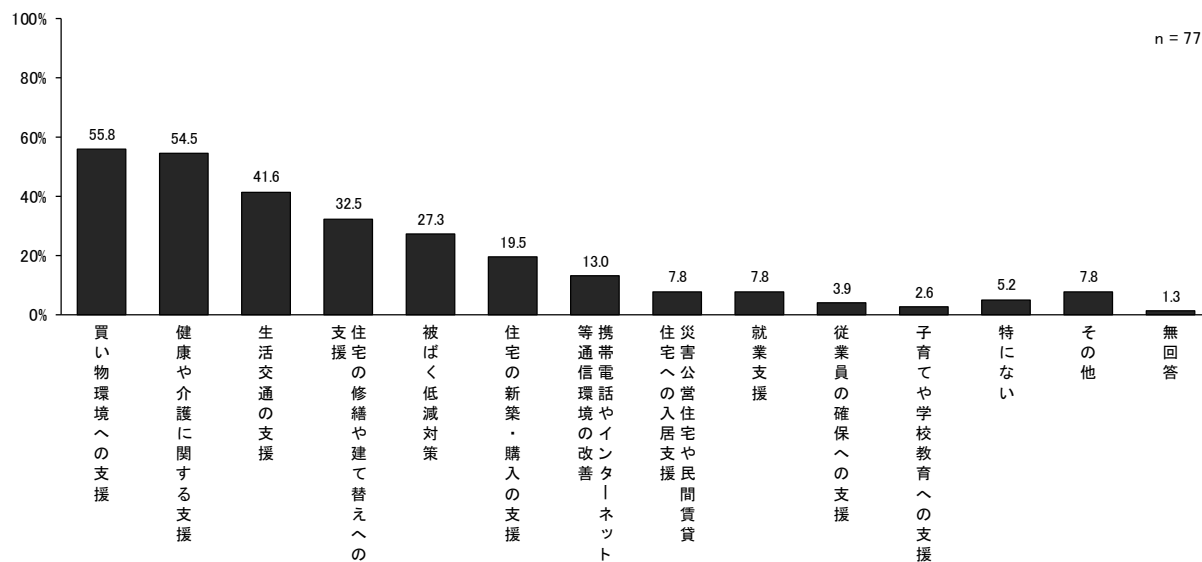
<図表3-4-12 浪江町への帰還時期(年齢別)>



3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(〇はいくつでも)

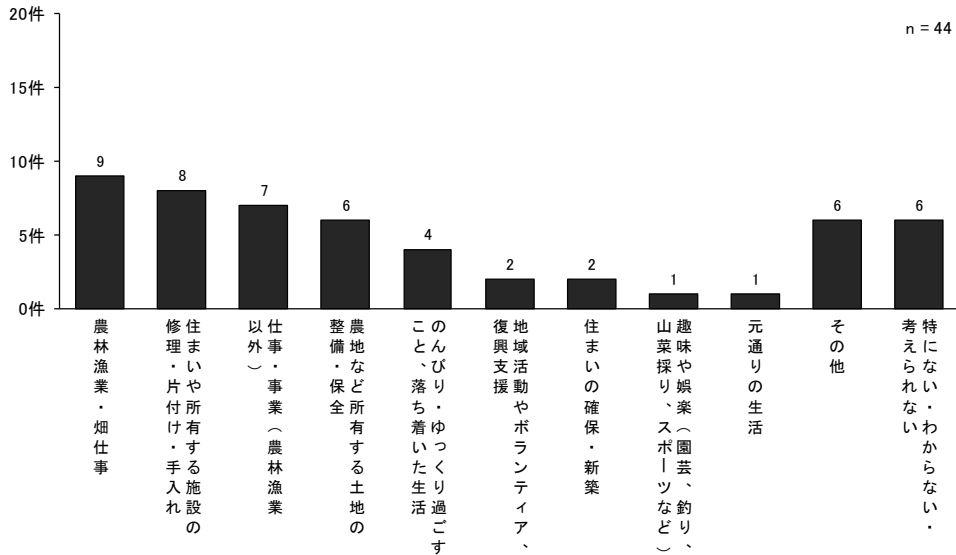
<図表3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じること>



3-4-14 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。（自由記載）

<図表3-4-14 浪江町へ帰還したらすぐにやりたいこと>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【農林漁業・畑仕事】

- 田畑の再開。（50代）
- 花木生産（農地の有効利用）和紙づくり→生産販売（工場の立ち上げ）、高齢者の仕事づくり（年金で生活出来ない人の為に）。（60代）
- 野菜栽培（イチゴ）道の駅（浪江）ができるので、野菜を出してみたいと思う。風評対応をしたい！（70代以上）

【住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ】

- 現在帰還困難区域にあるため、解除になればすぐに戻り住宅の修繕をする。困難の場合は新築。（60代）
- 屋敷周りの整理、家財道具の片付け。（70代以上）
- 住居内外の清掃整備。（70代以上）

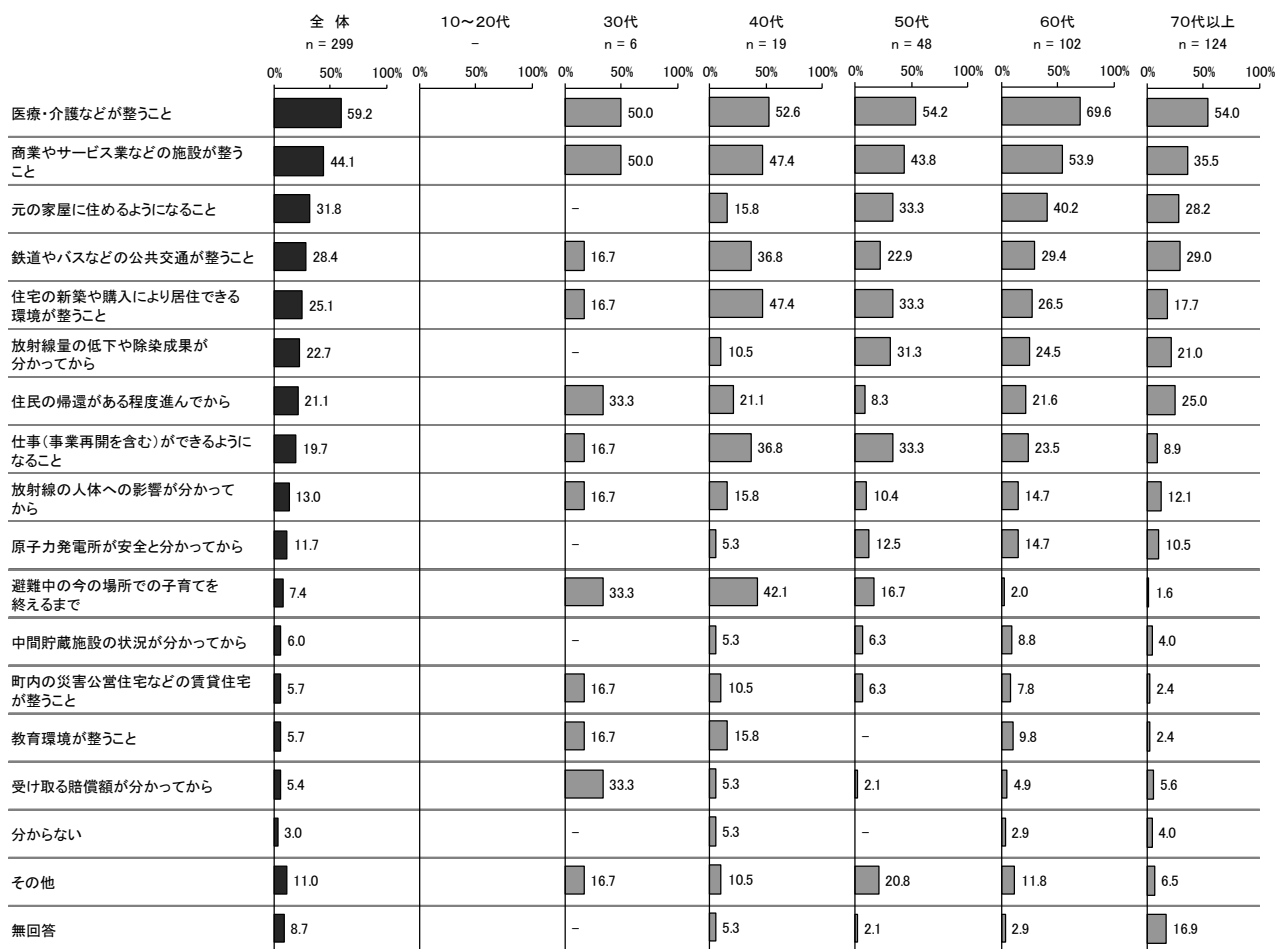
【仕事・事業（農林漁業以外）】

- 自営の仕事、新規事業を考えている。（60代）
- 店の再開。（60代）
- 震災前から開店していた直売所広場を再開し、今までの牧場を山林観光牧場（山林・農地に放牧）にして、浪江町復興のまちづくりをしたいと思っています。今後行政関係のご指導お願いします。（70代以上）

3-4-15 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(〇はいくつでも)

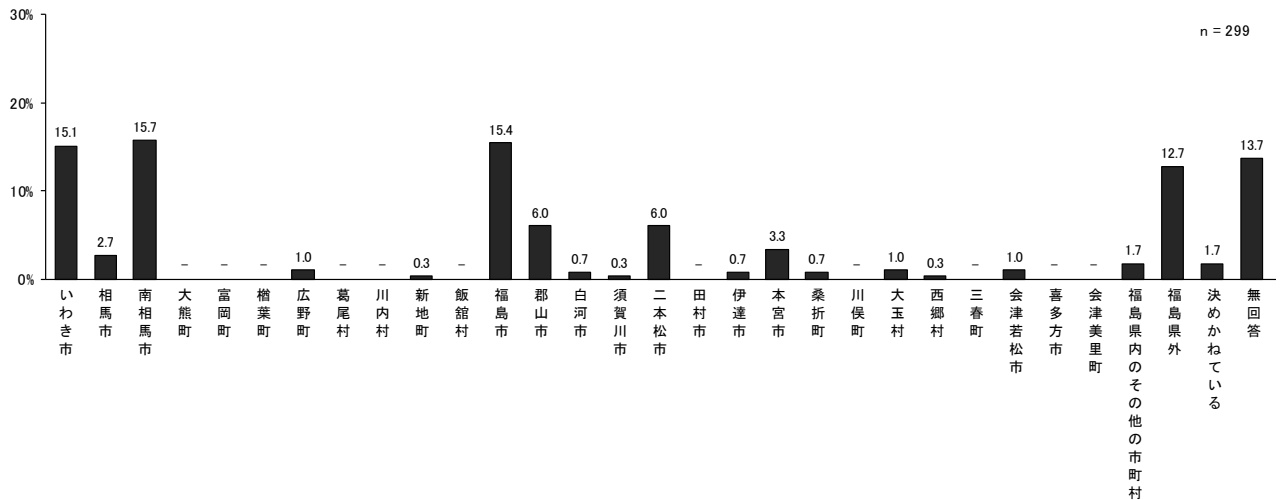
＜図表3-4-15 浪江町への帰還時期を判断するために必要な条件（年齢別）＞



3-4-16 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体

【問 17で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

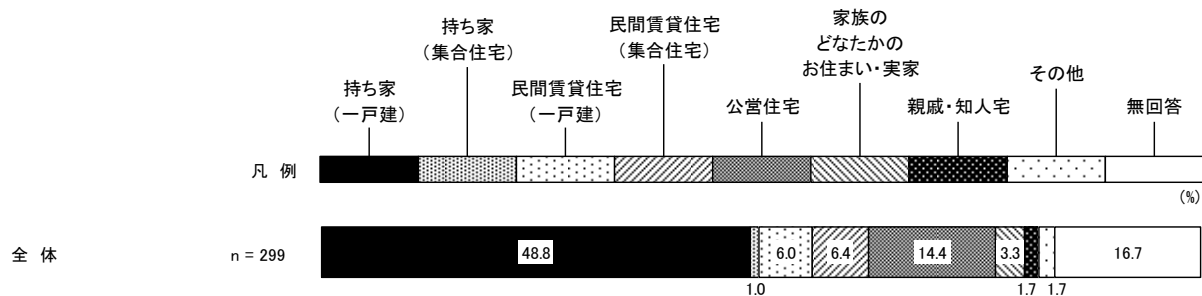
<図表3-4-16 浪江町に帰還するまでの間に居住を希望する自治体>



3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問 17で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】
 問 17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-17 浪江町に帰還するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態>



〔その他の内訳〕
 給与住宅（社宅、公務員宿舎など） 0.3%
 その他 1.3%

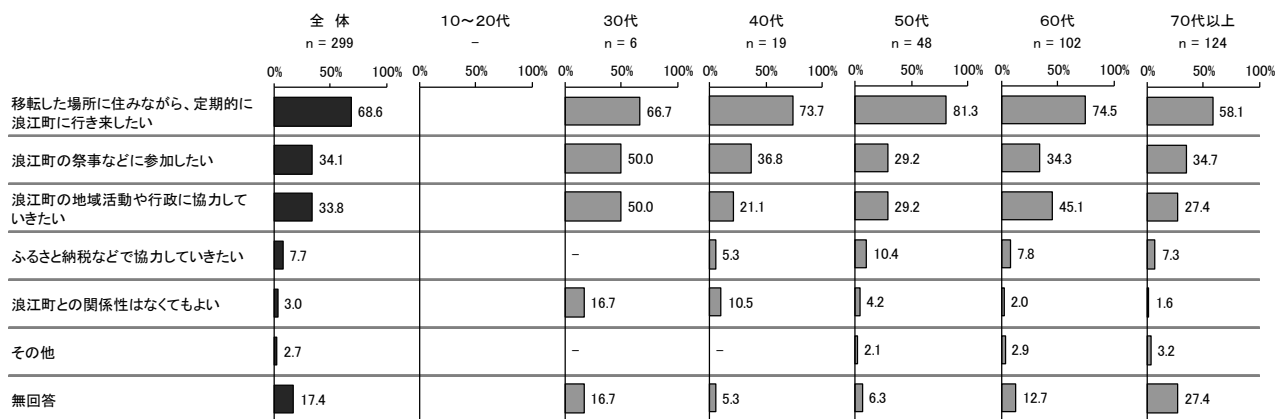
3-4-18 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係

【問 17で「2」～「4」と回答した方にかがいます。】

問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

<図表3-4-18 浪江町に帰還するまでの間の浪江町との関係(年齢別)>



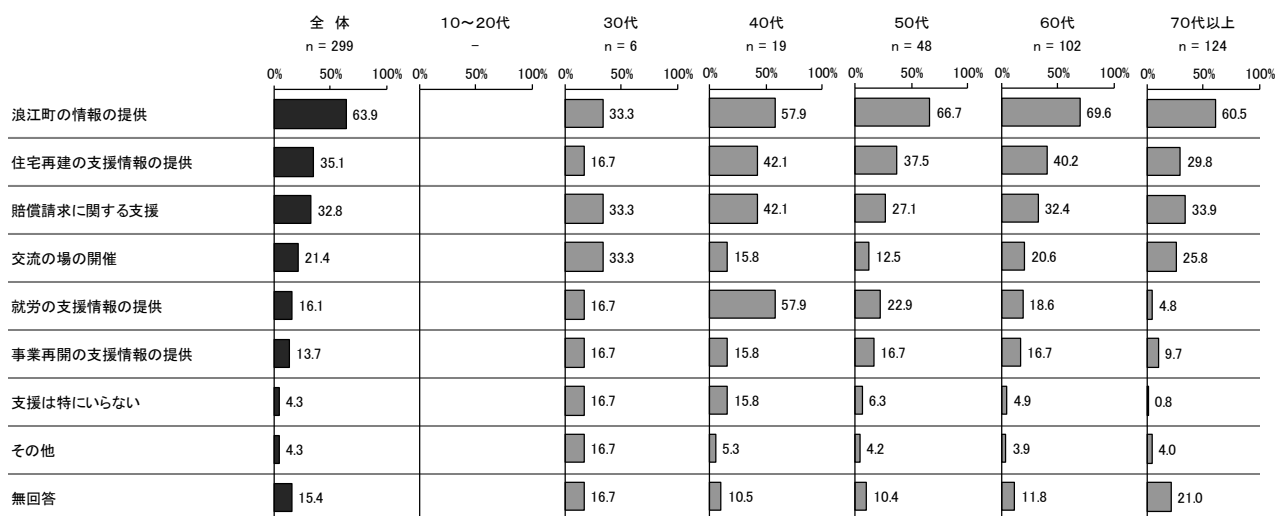
3-4-19 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援

【問 17で「2」～「4」と回答した方にかがいます。】

問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

<図表3-4-19 浪江町に帰還するまでの間に必要な支援(年齢別)>

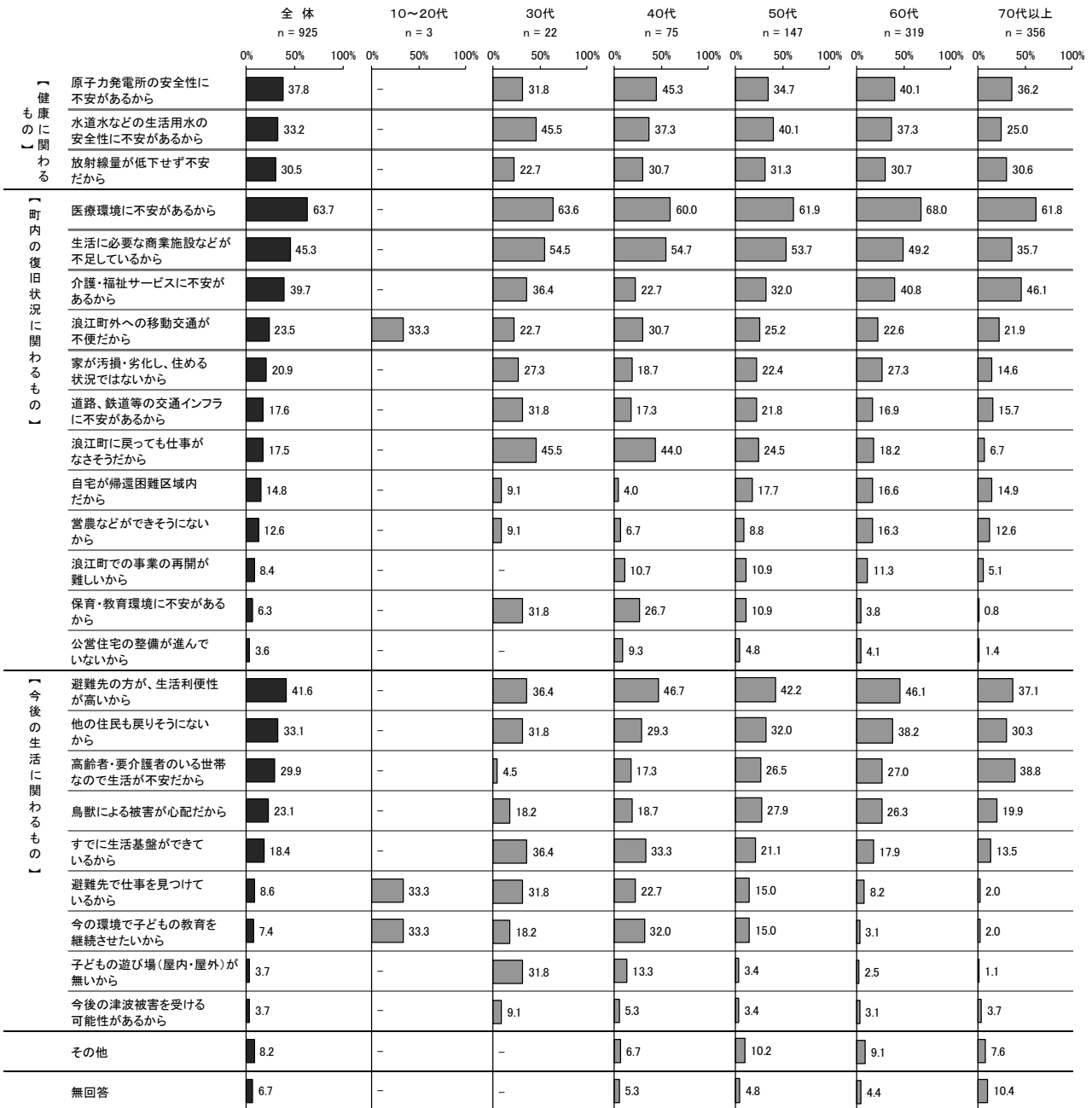


3-4-20 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-20 浪江町への帰還についてまだ判断がつかない理由(年齢別)>

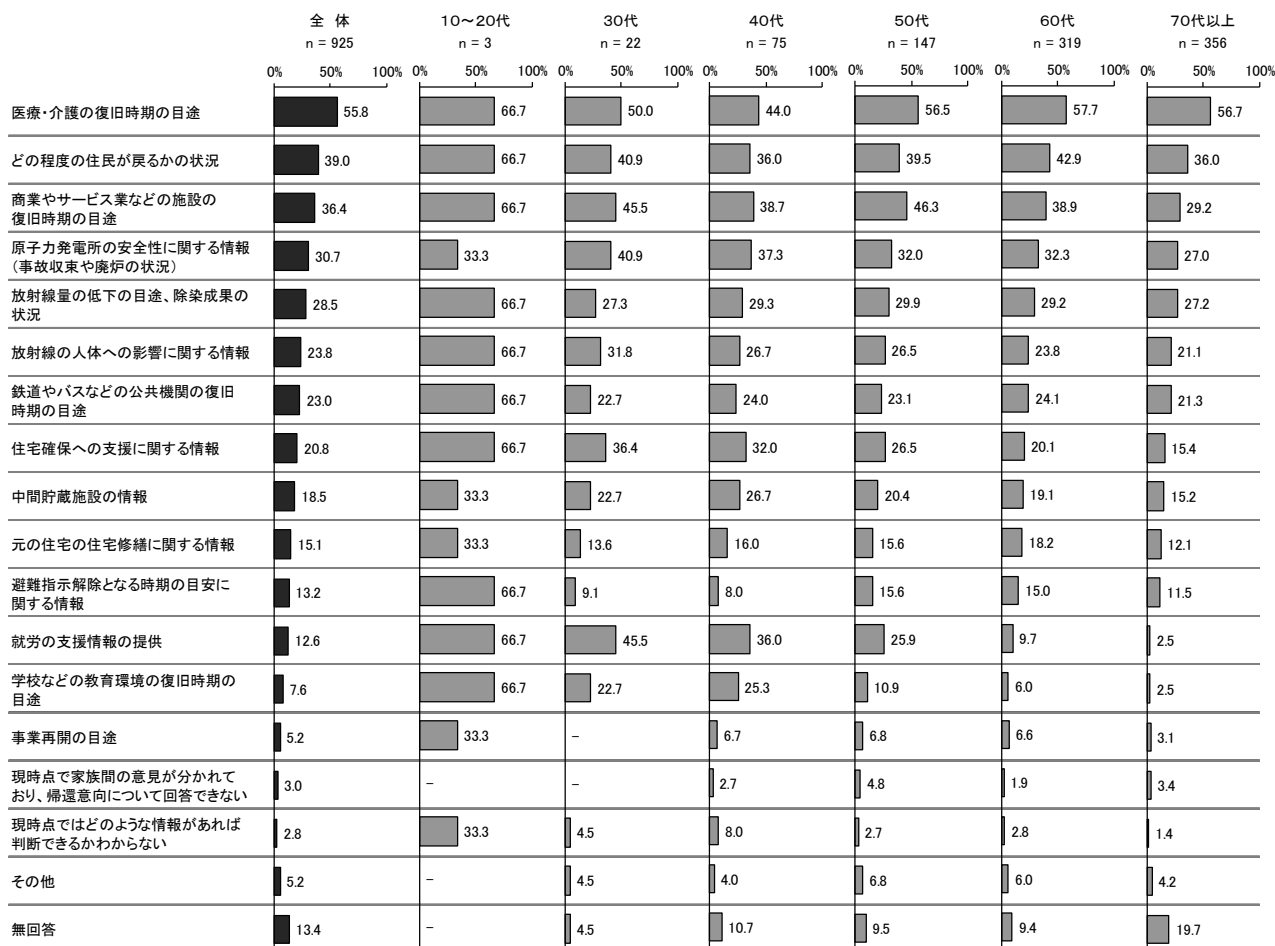


3-4-21 浪江町への帰還を判断するために必要なこと

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問19 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

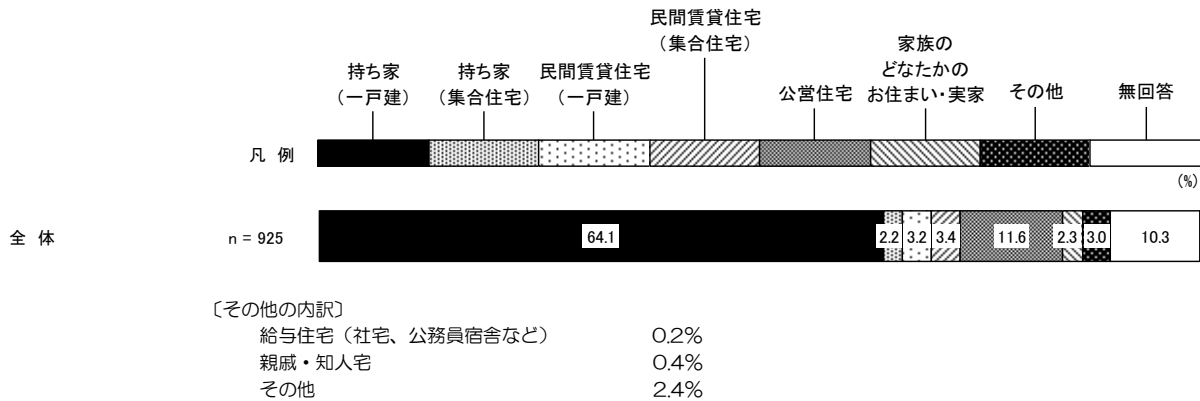
<図表3-4-21 浪江町への帰還を判断するために必要なこと(年齢別)>



3-4-22 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問20 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。
 （〇は1つ）

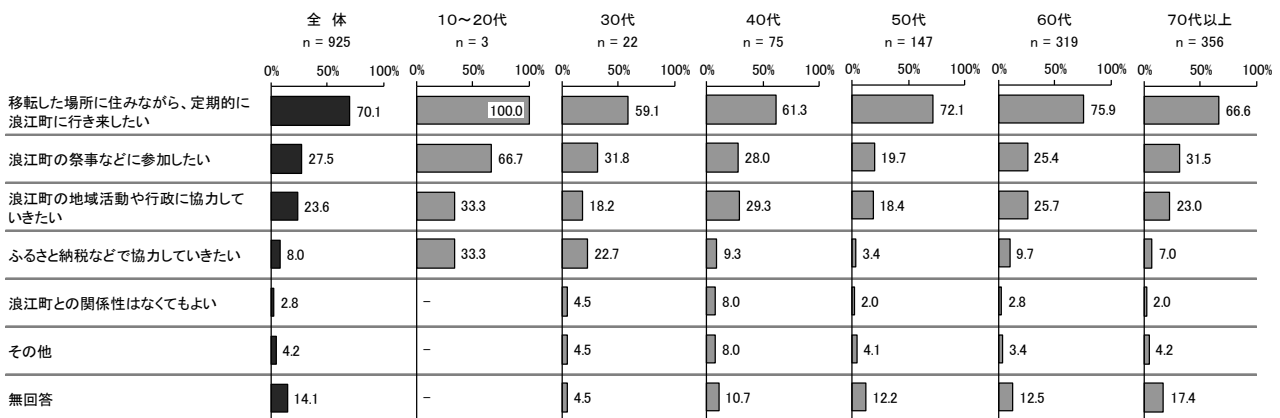
<図表3-4-22 浪江町への帰還を判断するまでの間に今後の住まいとして希望する住居形態>



3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

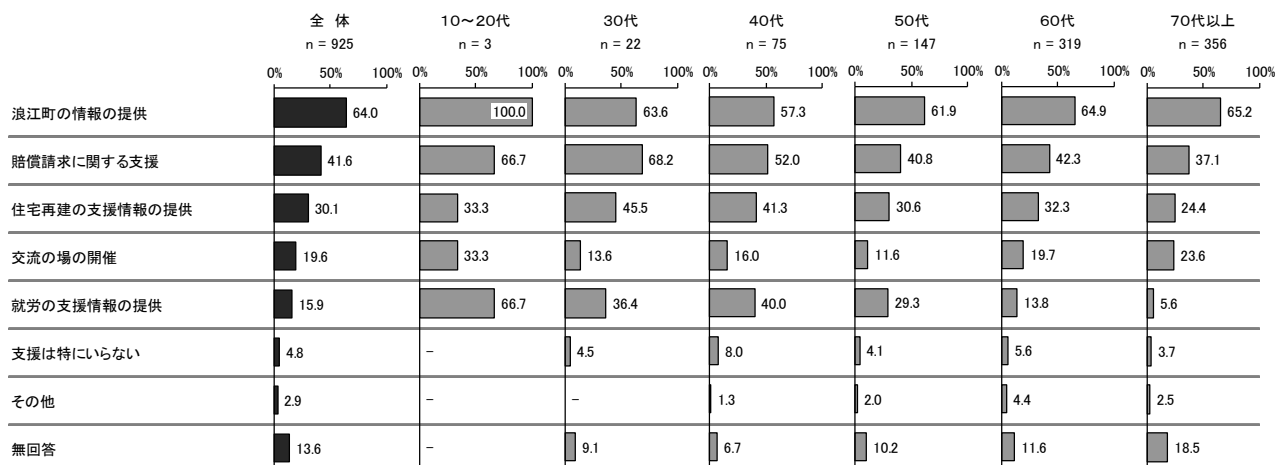
<図表3-4-23 浪江町への帰還を判断するまでの間の浪江町との関係（年齢別）>



3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

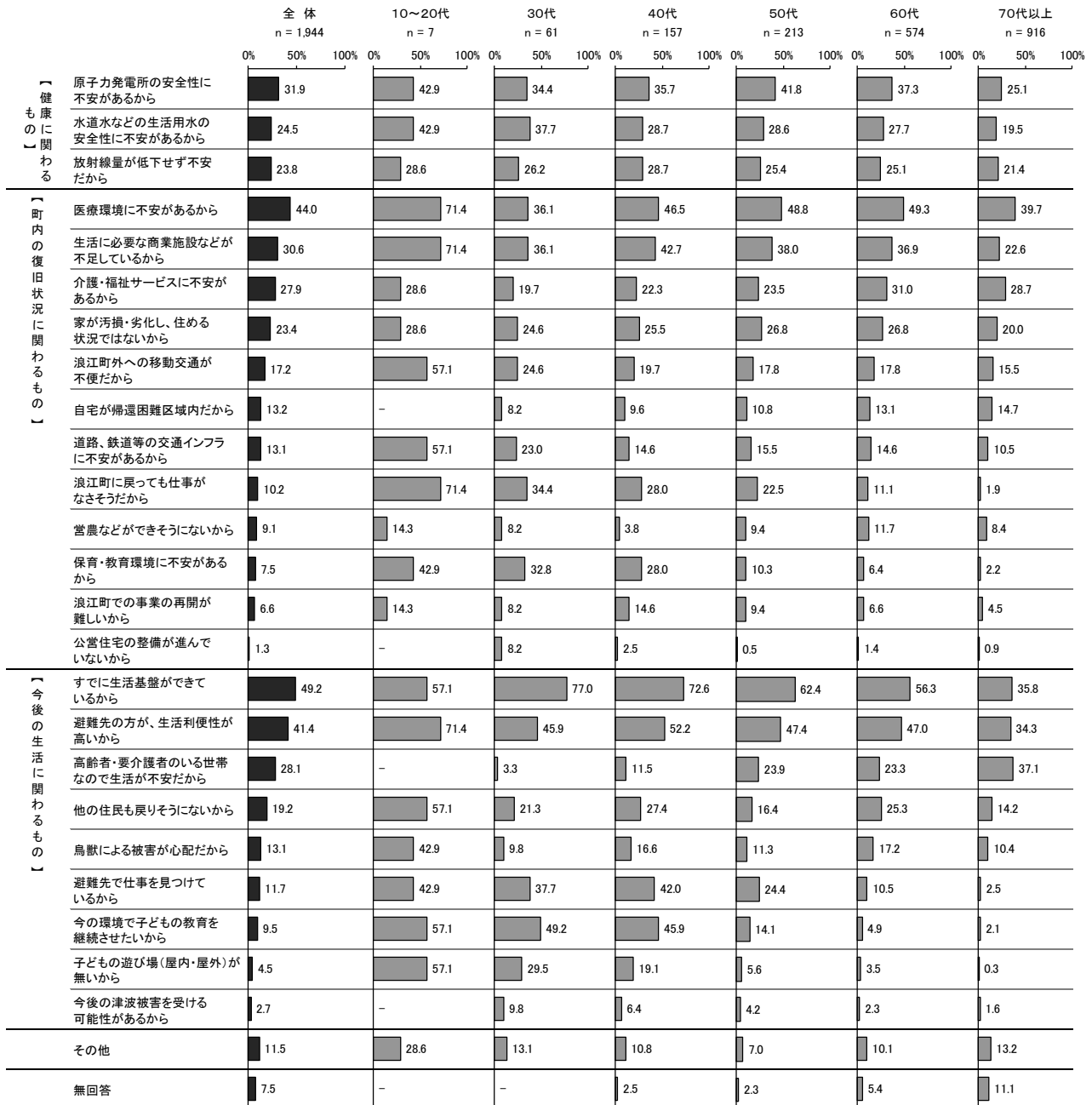
<図表3-4-24 浪江町への帰還を判断するまでの間に必要な支援 (年齢別) >



3-4-25 浪江町に帰還しない理由

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問22 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

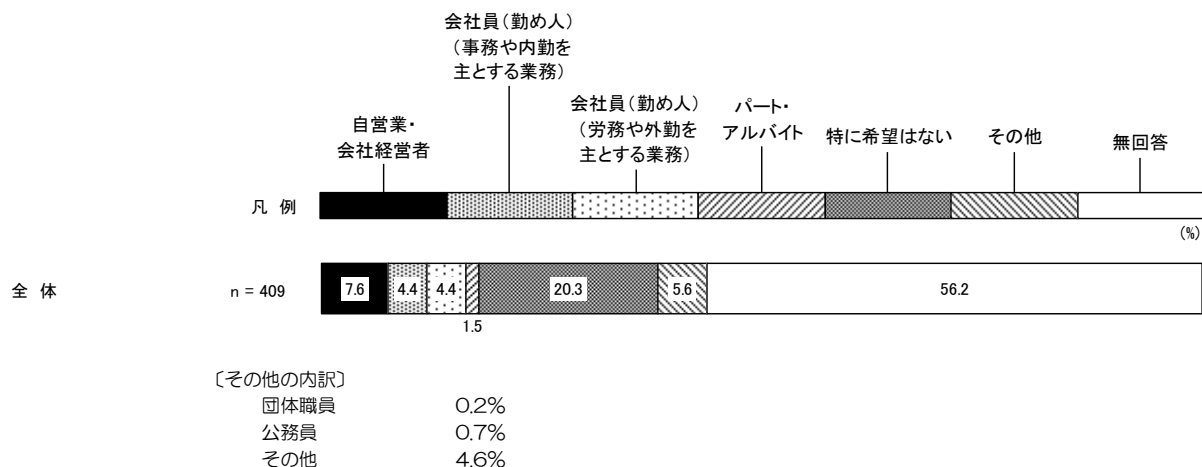
<図表3-4-25 浪江町に帰還しない理由(年齢別)>



3-4-26 浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）

【問 22 で「5」～「7」と回答した方にかがいます。】
 問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。
 (1) 就業形態 (〇は1つ)

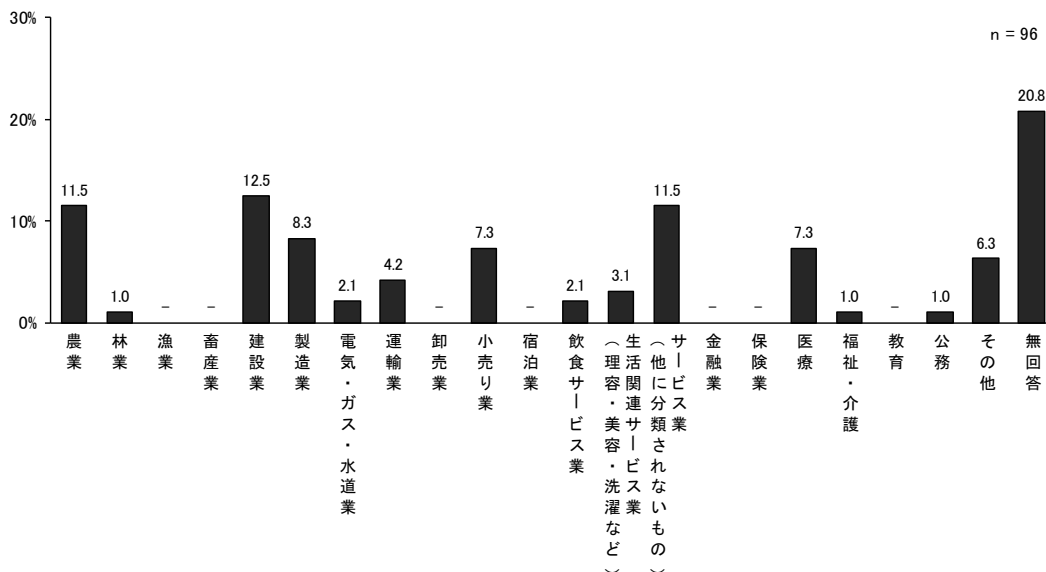
<図表3-4-26 浪江町へ帰還したいと思える職業（就業形態）>



3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える業種

【問 22-1 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にかがいます。】
 問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。
 (2) 業種 (〇は1つ)

<図表3-4-27 浪江町へ帰還したいと思える業種>

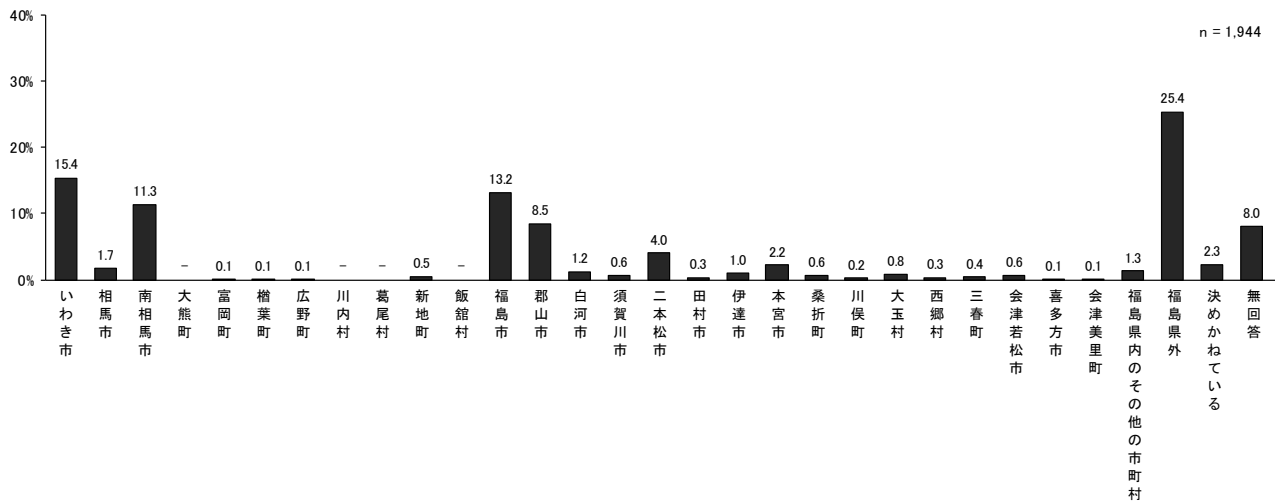


3-4-28 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問23 今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-4-28 浪江町に帰還しない場合に居住を希望する自治体＞

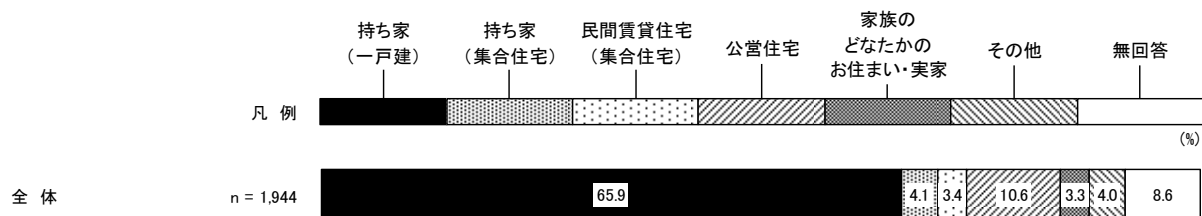


3-4-29 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問24 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

＜図表3-4-29 浪江町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態＞



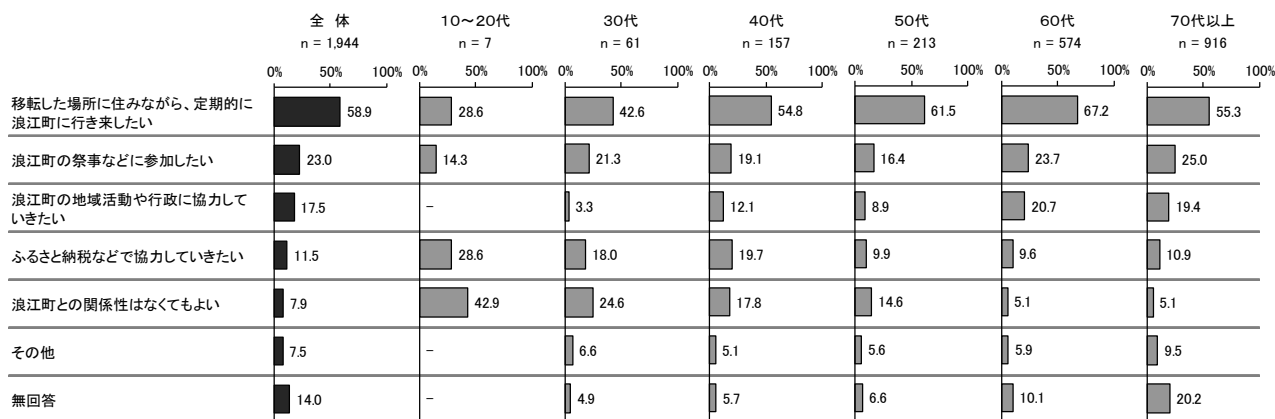
〔その他の内訳〕

民間賃貸住宅（一戸建）	0.7%
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.4%
親戚・知人宅	0.4%
その他	2.5%

3-4-30 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

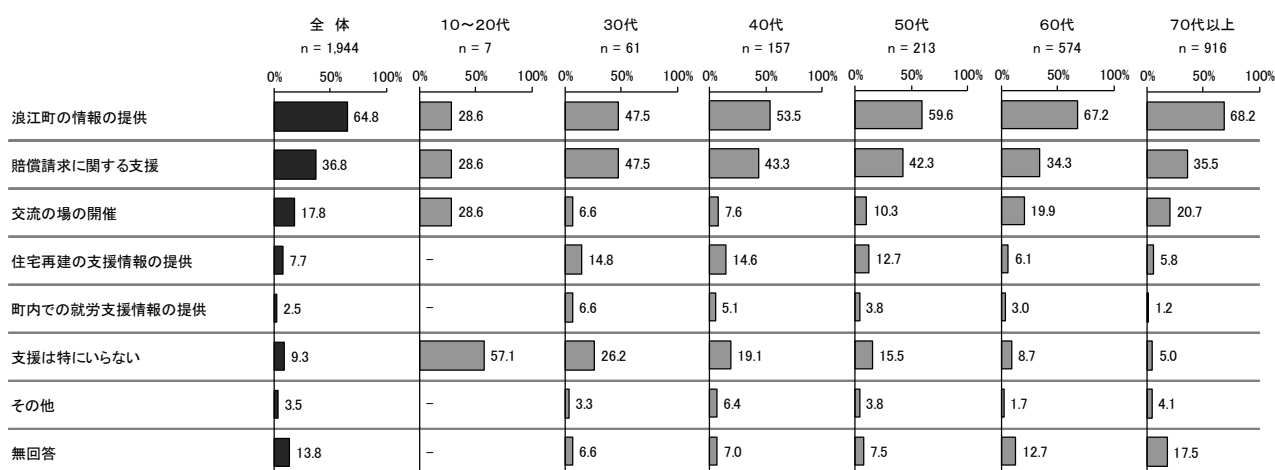
<図表3-4-30 浪江町に帰還しない場合の浪江町との関係(年齢別)>



3-4-31 浪江町に帰還しない場合に必要な支援

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。
 (2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

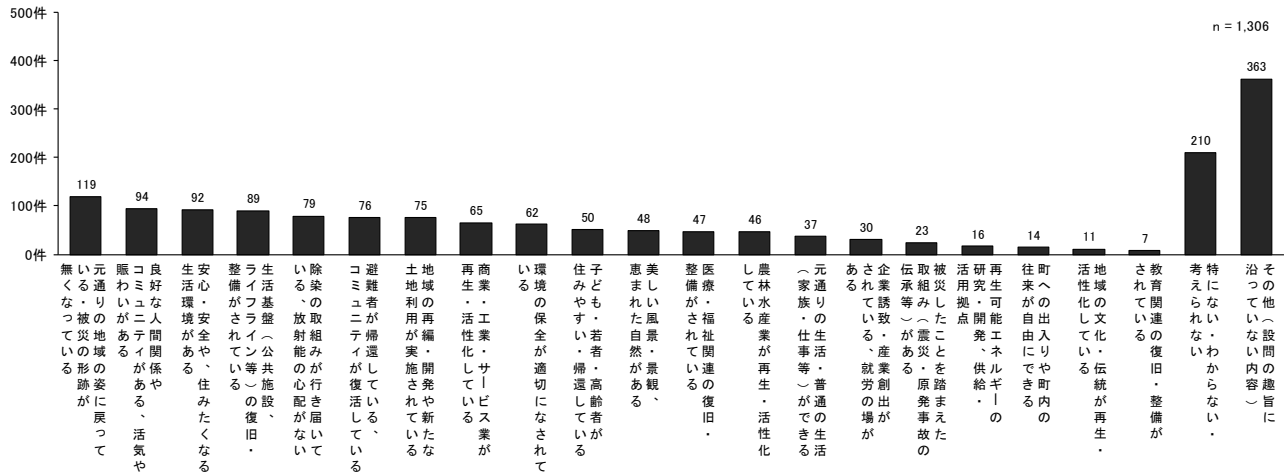
<図表3-4-31 浪江町に帰還しない場合に必要な支援(年齢別)>



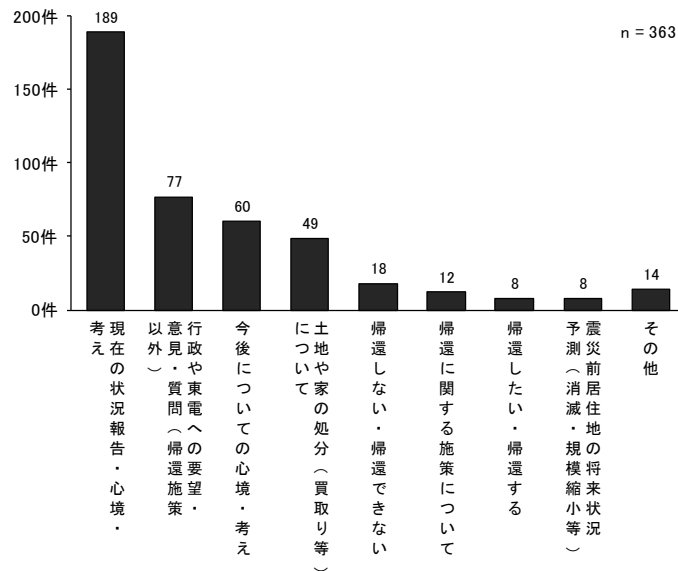
3-4-32 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿

問 26 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿を教えてください。ご自由にお書きください。

<図表3-4-32-1 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿（分類結果）>



<図表3-4-32-2 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿（その他の再分類）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている]

- できるかぎり元の風景や暮らしに戻ってほしい。(30代)
- 当たり前のように人が住み、当たり前のように祭りや行事があり当たり前のように衣・食・住がある以前と同じような姿を望みます。(40代)
- 震災前の美しい町であって欲しい。(60代)

[良好な人間関係やコミュニティがある、活気や賑わいがある]

- 近隣の人達との繋がりがあって、町の行事・学校での行事等でも和気あいあいとしていて、子供達が大人になっても仲良く(成人式をした後も)友達関係を持ち、その親も付き合いが続いていて幸せな関係…今の暮らしには、人との繋がりが全くなく淋しい生活…町の運動会でも、三世代リレーに出場するのが夢でした。(40代)
- 新しい人達が入って新たにまちづくりが形成されていくと思うが、良き伝統を残しつつ、新しい考え、知恵が柔軟に反映されるような地区、町になってもらいたい。(50代)
- 皆さんが戻り早く元通りの姿に戻り活気のある行政区になれば良いと思います。(70代以上)

[安心・安全や、住みたくなる生活環境がある]

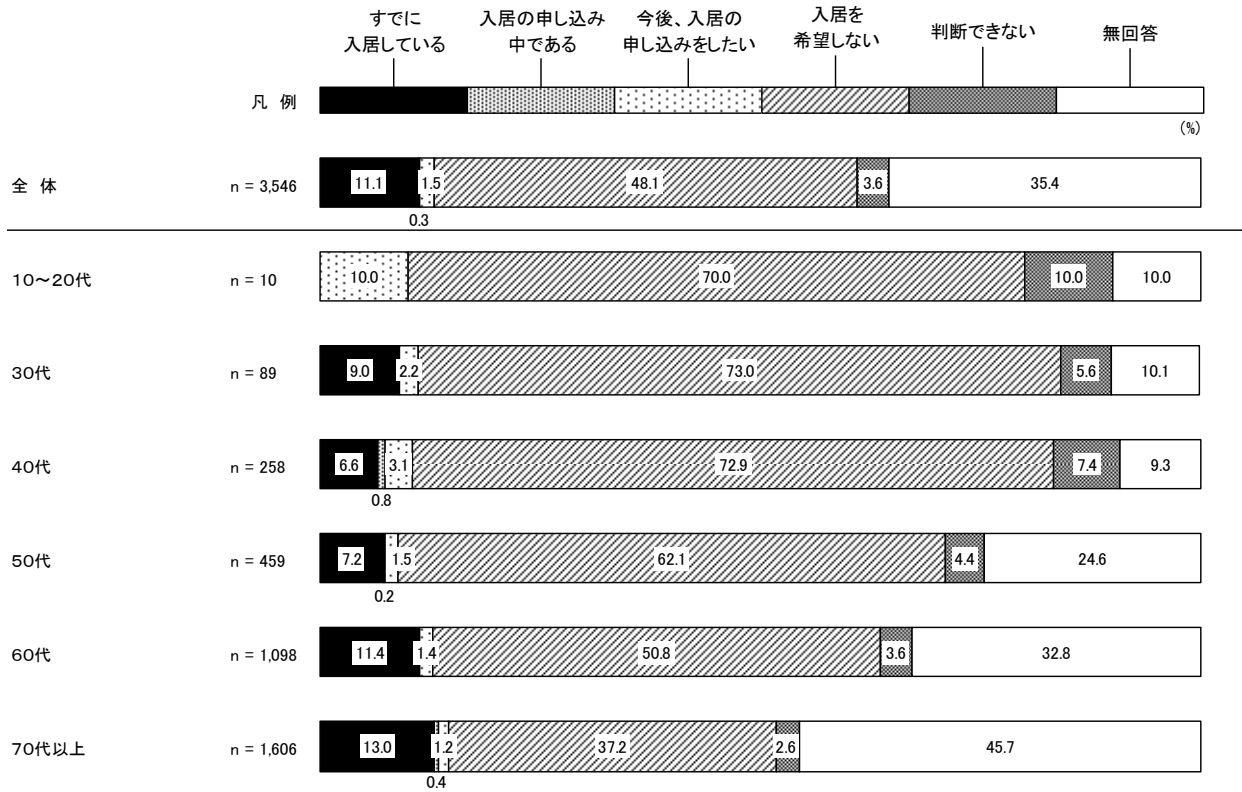
- 少なくとも子供が自分で判断できる歳になるまで戻ろうとは考えられないが、20年後、30年後…安全で安心できるまちづくりをお願いしたい。住む事を選択した人には住みやすいまちづくりを。特に、子供達の心のケア(その後結婚、出産の時も)その他健康診断等おねがいします。(30代)
- まずは帰還しても安全に暮らせるよう住環境が何とかならないかと思う。最も困ったのは、帰還したのが自分だけで周辺は誰も戻っていない。また家は解体され更地になっているが、雑草ばかりで、夏期はどこが道路なのかわからないくらい雑草だらけで困っている。また隣の土地も全く手入れがされない為にジャングルのようになっていて、蚊等の虫が大量に発生し、夜間は明りのついている我家に大量に押し寄せてくる。(50代)
- 風水害、放射線からの危険がなく、震災前のように山野草や川魚等が安全に食べられる地区。(60代)

3-5 復興公営住宅

3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向

問 27 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

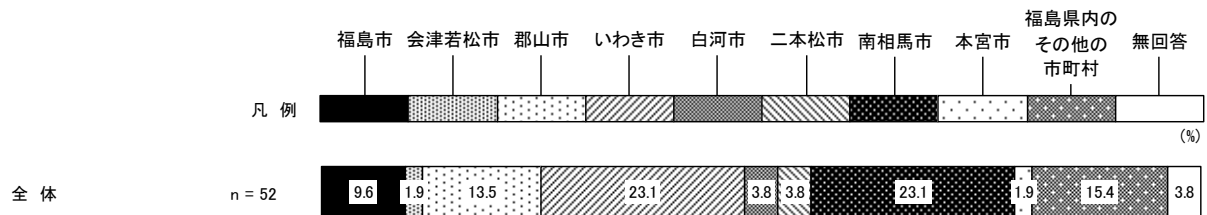
<図表3-5-1 福島県営の復興公営住宅（浪江町外）への入居意向（年齢別）>



3-5-2 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村

【問 27 で「3. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】
 問 27-1 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-2 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村>



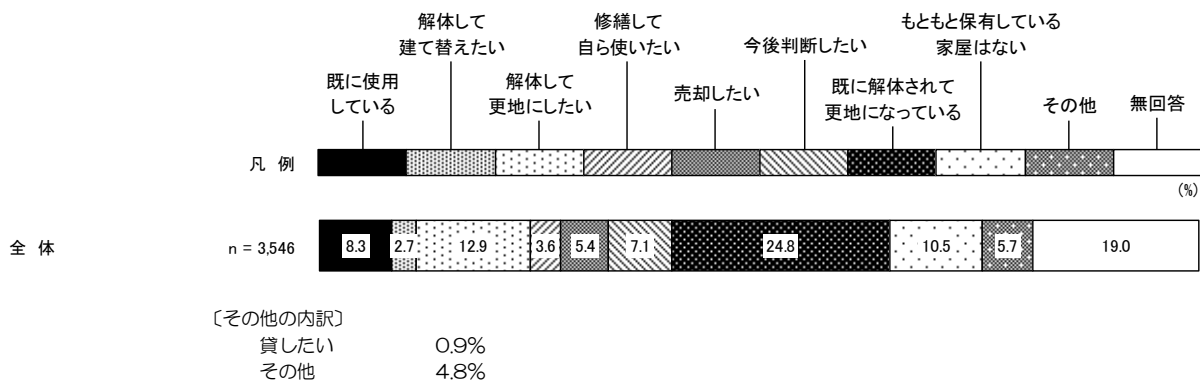
〔福島県内のその他の市町村の内訳〕
 田村市 -
 福島県内のその他の市町村 15.4%

3-6 不動産の取り扱い意向

3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向

問 28 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

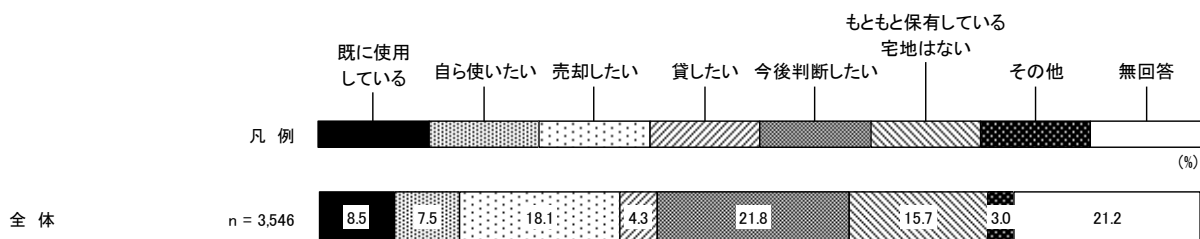
<図表3-6-1 浪江町内に保有する家屋の利用意向>



3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向

問 29 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

<図表3-6-2 浪江町内に保有する宅地の利用意向>

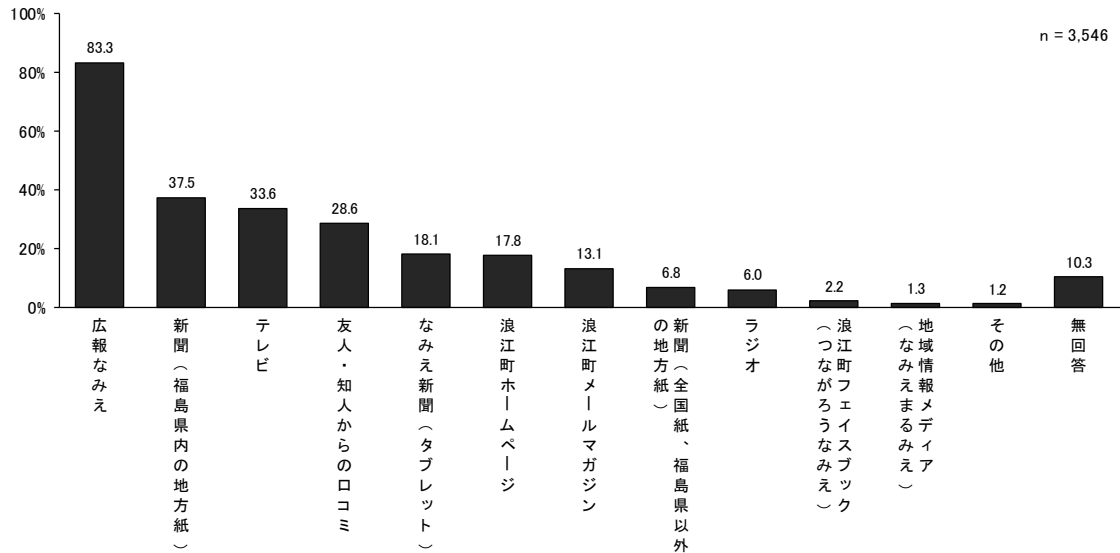


3-7 情報入手

3-7-1 浪江町からの情報の入手経路

問 30 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(〇はいくつでも)

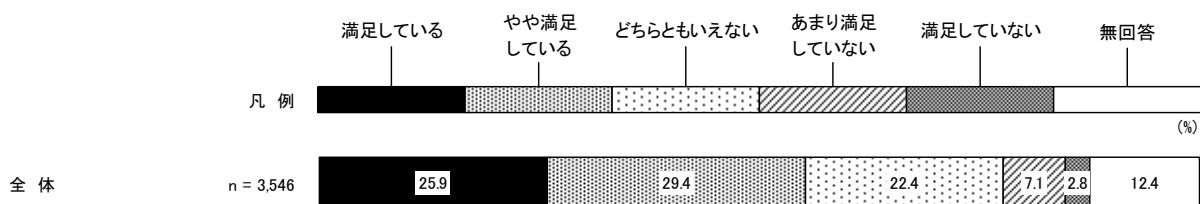
<図表3-7-1 浪江町からの情報の入手経路>



3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度

問 31 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

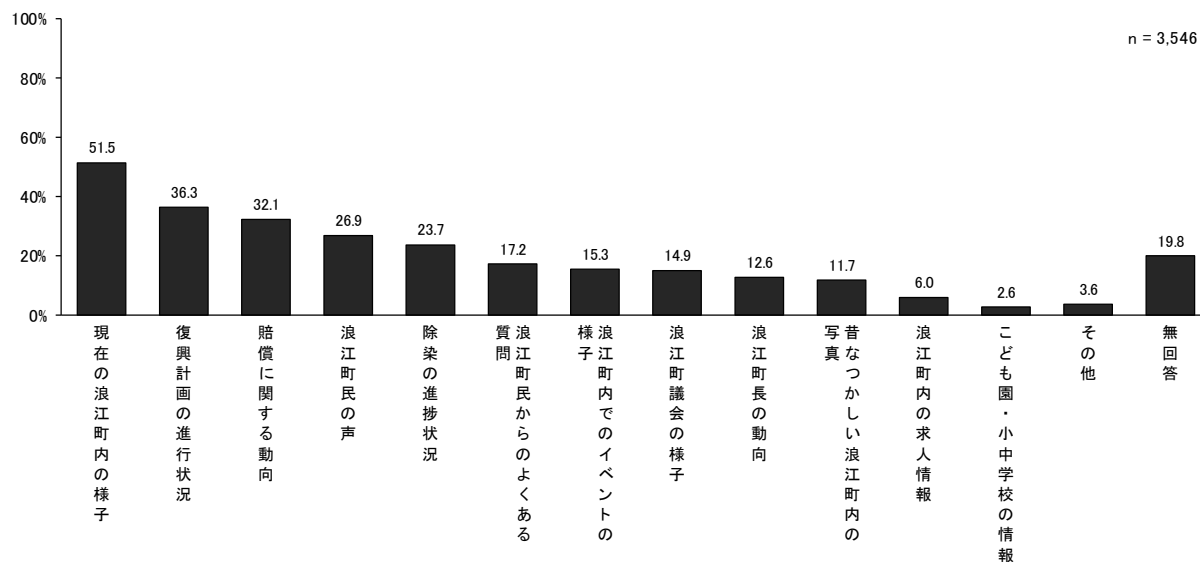
<図表3-7-2 浪江町役場からの情報提供に対する満足度>



3-7-3 浪江町役場から欲しい情報

問 32 ホームページ、広報なみえ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。
(〇はいくつでも)

<図表3-7-3 浪江町役場から欲しい情報>

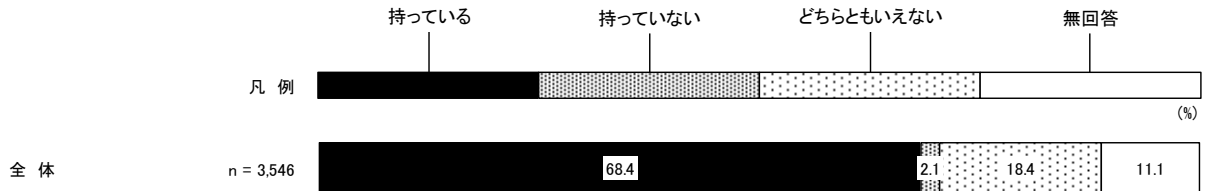


3-8 浪江町に対する思い

3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか

問33 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。(〇は1つ)

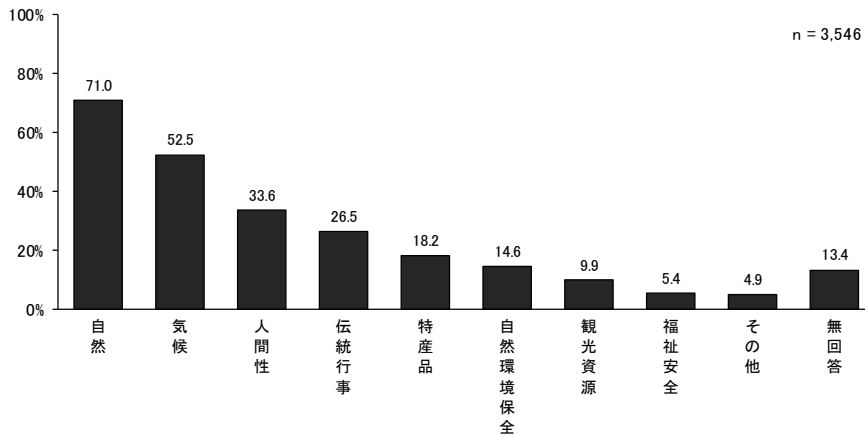
<図表3-8-1 浪江町への誇り・愛着を持っているか>



3-8-2 浪江町の自慢できるところ

問34 浪江町の自慢できるところは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表3-8-2 浪江町の自慢できるところ>



3-9 意見・要望

問 35 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、1,084 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

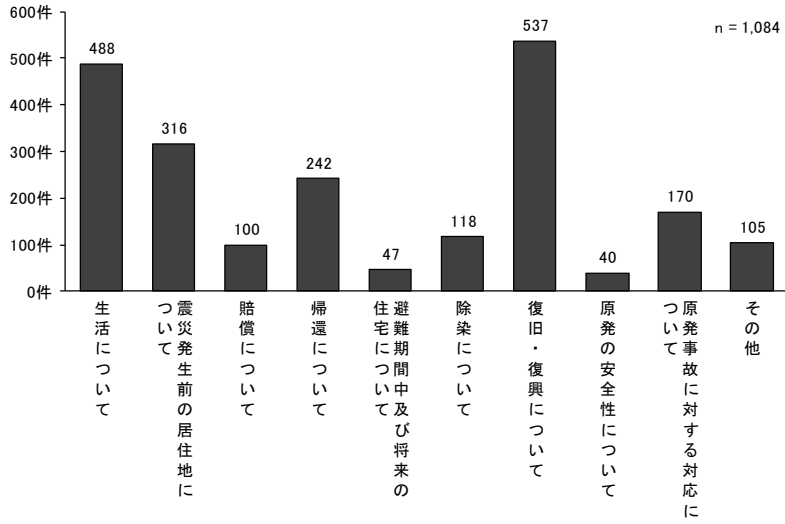
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果等について ・除染作業の実施箇所等について ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・中長期的スケジュールについて ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

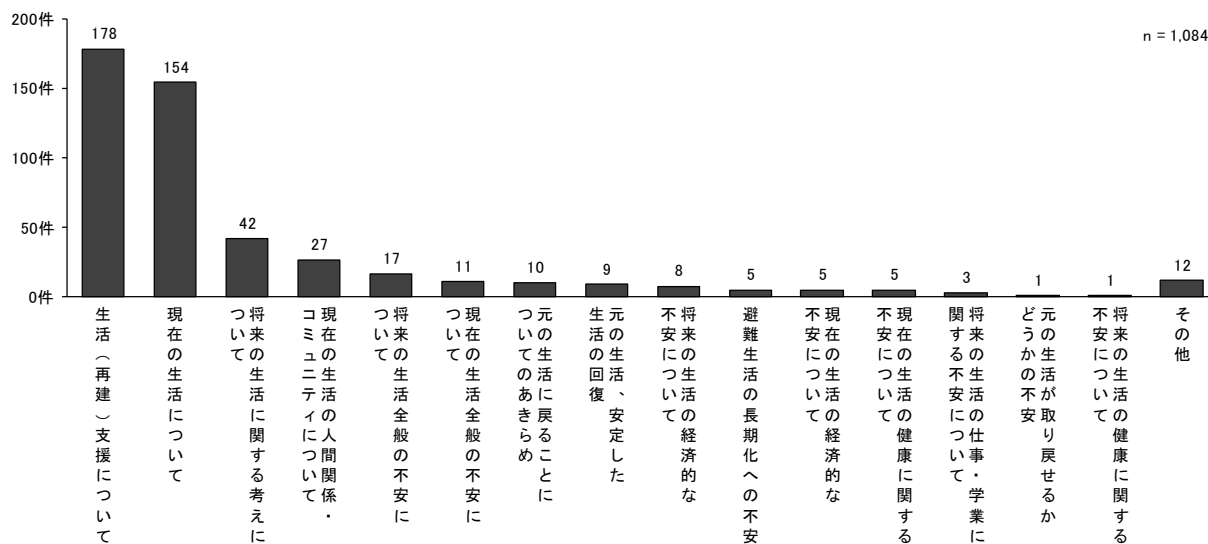
3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-9-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-9-2 生活について

<図表3-9-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[生活（再建）支援について]

- 助成金や補助金の給付申請をもっと簡素化してほしいのと、必要となる書類を共有してほしいです。個々の状況に合わせて、対応してほしいです。生活再建は、個々に進捗状況が違うので、期限を決めなくて、助成金や補助金の受付をしてほしいです。（30代）
- 高速道路の無料化を継続してほしい。親戚宅、墓参り等、福島へ行くことはこれからも続きます。（40代）
- 高齢者にとっては、医療費がかさむと生活が苦しくなります。もう少し数年先まで国民健康保険一部負担金等免除を続けてほしいと思います。（70代以上）

[現在の生活について]

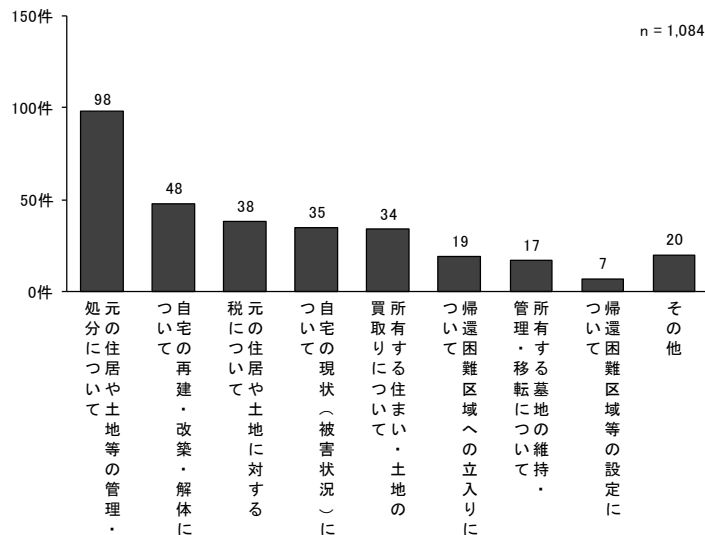
- 震災後、母子家庭で様々な方面で苦労が多かったですが、寄り添ってもらえる所がなく、どこへ相談してもどこか他人事だったり、避難した土地の子供の友達の親とも、イジメの対象になるばかりで、孤独でした。（40代）
- 年齢が大きくなると土地になじむことができない。コミュニケーションができなくなっていて、大変苦勞している。（50代）
- 全戸自主的に避難したので出先で生活基盤が出来るのは自然と思う。環境も良いので「終生ここで」と思う人も多いと思う。復興を祈る！！（70代以上）

[将来の生活に関する考えについて]

- 今は、放射線の不安もなく過ごせているためこのままここで暮らすのがベストだと判断しましたが、本当によかったのかわかりません。安心安全は、自分たちで判断するしかなく、他の場所での生活は心苦しいですが子供たちのために今の場所での生活をがんばろうと思います。（30代）
- 県外での生活が長くなると帰還は難しくなっています。その一方で、気持ちは地元愛があるので精神的に複雑になり心身疲れます。この苦痛は生涯続き、終わる事はないと思う。（40代）
- 両親のために新築し、介護の事もあつし、自分も障害が有りこれから先病院、買物、車の運転が出来なくなった時、浪江に帰るよりも、今の場所の方が都合が良い。動けるうちは、浪江にもかかわっていくつもりです。（50代）

3-9-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-9-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[元の住居や土地等の管理・処分について]

- ・更地になった自宅土地を、これからどのように管理すれば良いのか困っている。皆さん、同じ気持ちだと思います。（50代）
- ・生存中に不動産の売却処分をし、後々相続等で問題の生じないようにしたいが、行政の窓口がないので早急に対処して欲しいです。（60代）
- ・解体の跡の草の処理。年3回（年令の関係で）他人にお願いするしかありません。年金暮らしのものにとって生活はきつくなります。私の様な人達が多いと思います。町の方でその処理について考えてほしいと願っています。（70代以上）

[自宅の再建・改築・解体について]

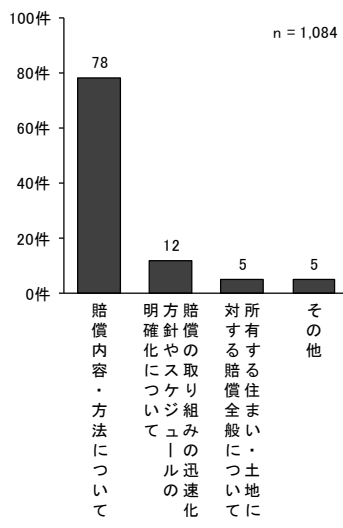
- ・家屋の解体の手続きが、仕事等で忙しく間に合わなかった。そういう人も他にいると思うので、再度手続きの再開を望む。（40代）
- ・震災後、9年が経ち、家庭の事情も年々と変わってくる為、以前は家の解体を申し込みしなかったが、事情により変わる場合も出てくると思うので、そういった人達の為、10年後位で再度解体の受け入れ等の申し込みを募ってほしい。例えば以前は、ローン返済中で解体出来ない場合等もあったと思います。（50代）
- ・半壊を免れた浪江町の自宅が、いずれ老朽化した場合公費で解体してほしい。（70代以上）

[元の住居や土地に対する税について]

- ・家屋を解体して更地になっているが宅地は税金が高くなるらしいので、なんらかの解決策があるなら教えて欲しいと思います。（50代）
- ・浪江の宅地を所有していても将来子供達も使用するとは思えないので処分したいと考えていますが、当然この状況において買い手もなく国や東電で買い上げる方向を望むところです。土地の管理や税金の負担が重荷になることは確実です。（60代）

3-9-4 賠償について

<図表3-9-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- 被災、避難者全員の声を聞き、個別に対応して全てを精算して欲しい。その上で第1歩を踏み出して欲しい。(40代)
- 他の被災した町村でも同様だと思いますが仕事の為に住みついていた方々も多数おります。地元出身(郷土)の方への手厚い対応は十分理解出来ますが前述のような方が存在していることを忘れずに。賠償対象地区とそうでない地区と同様に対象地区内でも不公平感と不快感を持っている方がいることを感じ取って下さい。(50代)
- 数々ありますが1つだけお願いする事がありましたら、農業に関する補償です。今後地域が解除されても農業の再開は不可能と思われるので米の補償の延長をお願いします。(60代)

[賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

- 以前に浪江町より届いた書類にて東京電力へ、町が仲介して、現時点で賠償の請求漏れはないか、又、今後請求できるものはあるかを代わりに問い合わせをして、その結果を知らせてくれるという取り組みがあり、依頼をしました。しかしそれからすでに1年以上の月日が経過しており、元々時間を要する旨はお聞きしていましたが、それにしても遅いと思います。期間を空けられると益々不安になります。せめて現在の進捗状況でも通知してほしいです。(30代)
- 個人では無理なので町として東電・国に対しADRの早期和解に向けて取り組んでほしい。(60代)
- 精神的損害賠償について、ほとんどの人が不満である。町、県、国が、町民のために満足がいくように働いてほしい。先の短い人々が沢山いるので、早急に取り組んでほしい。(70代以上)

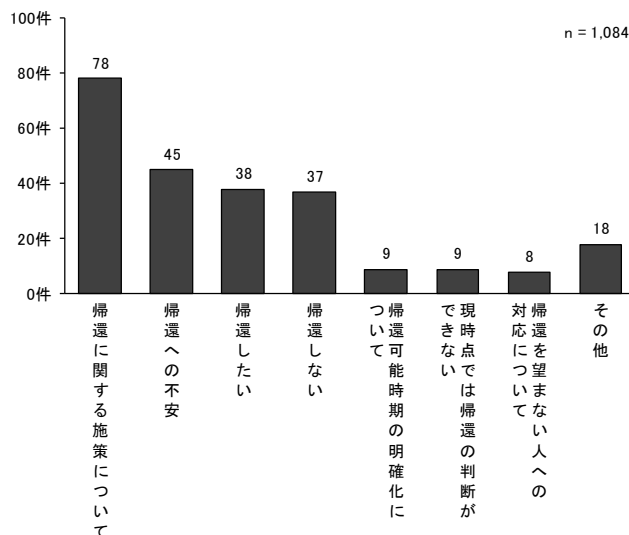
Ⅲ 調査結果

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- 海岸線の住んではいけない地区に住んでいたけれど、安く土地（宅地）が買い取られ、3倍の土地（宅地）に戻るなど、考えられない。相馬市、南相馬市の親戚よりも宅地の買い取りは、3分の1です。なぜ、こんなに差があるのか疑問です。災害（津波）の被害者は、何も恩恵を受けていない。津波被災者と、原発避難とを一緒にしてほしい。津波被災者は、全ての人が納得してないのでは。もう少し、考えてほしい。（50代）
- 田、畑の長期賠償。（60代）
- 浪江町は個人資産の内容がわかっているので、田畑の今後の価値に対する原発事故の賠償等の要望をしてほしい。（70代以上）

3-9-5 帰還について

＜図表3-9-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- 避難先で生活の基盤が出来ている人は帰還するのも簡単ではないと思われますし、厳しい状況であろう事は予想出来ます。震災前の浪江町に戻すのではなく、新たな町の有り方、生活の利便性や産業などを構築していくことで未来が見えるのではないかと思います。(30代)
- 浪江町内に持家があり帰還を希望しているが、引越費用が高額となり準備が遅れています。帰還に関する出費についての援助をお願いします。(50代)
- 元からいた人達が「戻りたい」という環境を作ってほしい。駅を中心としたまちづくりをし、商業・医療の活性化を図って頂きたい。私は無理でも次の世代が住みたいと思える環境を作ってほしいと思います。(70代以上)

【帰還への不安】

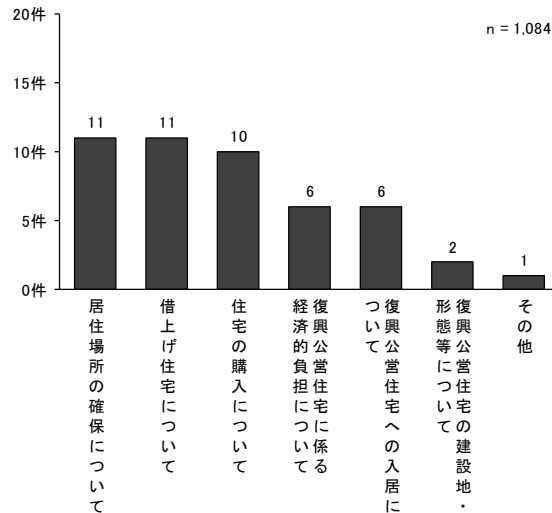
- 現在1歳半の娘がいます。自分の育った土地で子育てしたいと思う気持ちはとても強くありますし、それが当たり前でできるものだと思っていました。しかし、やはり原発への不安や不信感が消えないなかで娘を危険な土地へ連れていくことはできません。(30代)
- 自然豊かな浪江の山方面は、野生の生き物が多くなっているため、将来的に住むことができるのか？不安!!(50代)
- 中心市街地の計画が手つかずである。今のままでは、コミュニティが作れないので帰って来ても不安だ。私の行政区では未だ、だれも帰って来ていない。(60代)

【帰還したい】

- 広報なみえにて復興状況を知り、浪江町に帰りたい気持ちになります。浪江町の復興が進んでいるので嬉しくなります。震災前の浪江町になる事が希望です。(30代)
- 本当の放射線量の公表。土壌中の放射線の公表出来ますか？それが出来たら帰りたい。(50代)
- 帰還困難区域で有る故に夢も希望もないが生きている内に我が家に帰りたい。(70代以上)

3-9-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-9-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【居住場所の確保について】

- 新しい土地で新居を購入することは、土地の価格の違いもあり、非常に困難である。(40代)
- 帰還困難区域ではなく、町の整備されている所に移住してはと人はいうが、それでは町の中ではなく、県内、国内などのどこでも同じということになってしまう。人それぞれ違いはあるだろうが、今、幾度となく自宅に行っている人達はみんな自分の住んでいたところに帰りたいのだ。(60代)
- 避難解除に伴い、借上げ住宅も打ち切られる以前に住まいを決めなければならなかった。避難先で夫を亡くし、住み慣れたふるさとを追いつき悔しさと辛さで短時間パートに出た。苦渋の決断で避難先で家を建てた。(70代以上)

【借上げ住宅について】

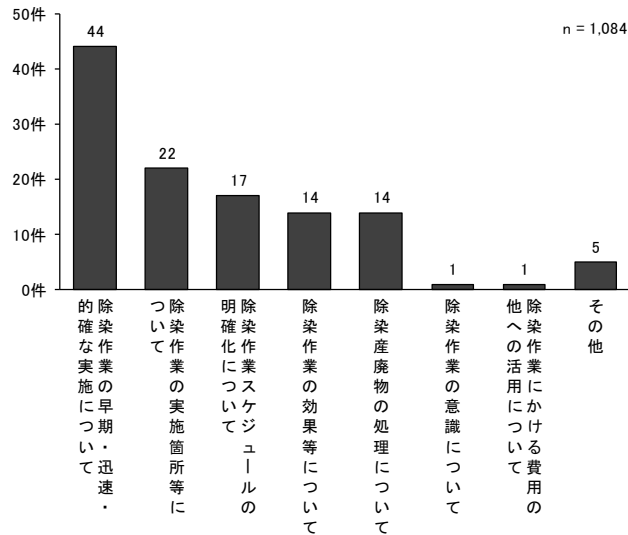
- 今年度をもって借り上げ住宅が終了になるというのは、疑問があります。色々な生活形態があり、事情があり、今の浪江に戻って生活をする中で、支障が出る方もたくさんいらっしゃると思います。借り上げ住宅については、もっと柔軟な対応をすべきと思います。(40代)
- 浪江町は、来春で借り上げ住宅制度が終わる決定となったが、町単位として終了するということに納得できない。理由は震災前の収入にすら届かない現在の生活で、借り上げ制度がなくなるということは大変さびしいものがある。年齢的にも不利であり、簡単に職が見つかるというわけではありません。以前の住まいも賃貸ということもあり、家を購入できる状況ではない。せめて、賃貸住宅だった方は、もう少し延長をしてほしいと思います。(50代)
- 来年の3月で借上住宅の契約が切れその後は実費にて家賃の支払いをしていかなければならないが、浪江町で持ち家を持っていながら(現在は解体したが)、建て替えや住宅購入の際には東電で賠償させていただけることの案内を度々いただいておりますが、80才になってローンを組んで…とも出来ず。何故賠償させていただける分を現金として、支給出来ないのか。現金支給して頂けるなら不安も軽減するが、これから先家賃を支払ってどうやっていくのか納得できない上に先々が不安です。この辺りをもう一度東京電力と浪江町で話し合ってください。(70代以上)

【住宅の購入について】

- 復興住宅の購入を希望したい。支援して頂けるのであれば、一戸建ての復興住宅の購入が出来れば、今後の事も少し落ち着くと思っています。ぜひ検討して頂きたいです。(40代)
- 家を造りたいが金が無い。(60代)
- 避難してもはや九年目を迎えようとしています。が宅地は船の置場や市場など出来ても家を建てる事は出来ず。避難先で中古物件を買う事になりとても残念です。(70代以上)

3-9-7 除染について

＜図表3-9-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- とにかく、除染の進捗が遅い。遅すぎる感じです。除染して、解除しなければ何も始まらず、国・県は予算がどうのこうのと（他にもあるが）理由をつけ、浪江町の山間部については殆どと言っていいくらい進んでおらず、今後、解除時期が、10年、20年先になれば帰還する住民は全く居なくなると思います。町として、強く、国、県へ働きかけて欲しい。国や県がやらないなら、町が借金してでも除染すべきだと思う。（50代）
- 復興を進めるのであれば早急に除染をし、生活できる場をつくること。（60代）
- 先延ばしをしないですべて除染して、安心して住めるように、何卒よろしく願いいたします。（70代以上）

【除染作業の実施箇所等について】

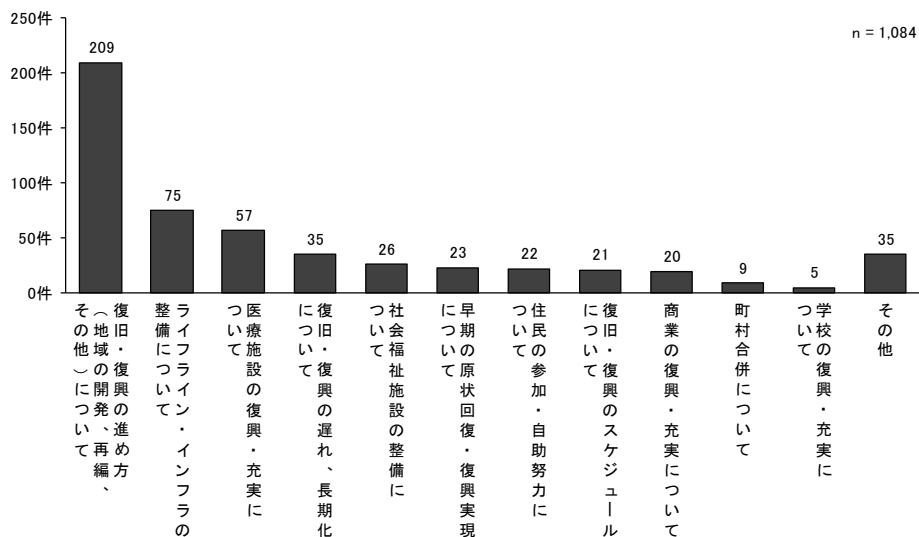
- 住居近くの林森地も除染して頂かないと貯水池汚染や線量も下がらないので立入り出来ない。（50代）
- 山と川、土地を除染しないと浪江にも帰れない。春には山菜、秋にはきのこ採り。この事が今でも思い出されます。安心して住めるようにして下さい。（60代）
- 森、山もまだまだ除染ができていないので除染をお願いします。（70代以上）

【除染作業スケジュールの明確化について】

- 帰還困難区域の早期除染をお願いします。住宅が朽ち果てていくのを見るのは、忍びないのでいつやるか、その時期を示していただきたい。（60代）
- 今どこまで除染が進んでいますか。あと何年ぐらいですか。浪江町の広報に載せて下さい。（70代以上）
- 特定復興再生拠点外の帰還困難区域の除染計画を早く示して下さい。何の方針を示さないため、いつまでたっても何をする事もできず、将来計画も立てられず時間のみが過ぎていきます。家屋、農地が荒れ果てるのみです。（70代以上）

3-9-8 復旧・復興について

＜図表3-9-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・以前以上に若い世代が定着できるようにしてほしい。仕事、町のイベント、子供達への福利厚生、若い世代に対しても行政の強化を望みます。（30代）
- ・浪江町に特化せず、双葉郡、相双、浜通り全体を可能な限り大きくくりで国の予算を利用できるようにして再開発を考えてほしい。（60代）
- ・「浪江町の復興なくして、日本の復興なし！」と2011年に言っていたことを再度、再認識してほしい。風化させない努力をお願いいたします。（70代以上）

【ライフライン・インフラの整備について】

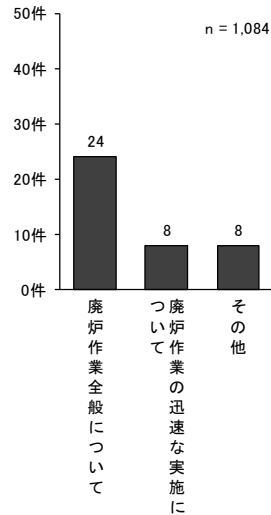
- ・浪江に遊びに行っても、子供達がのびのびと遊べる所がなくて、結局小高や原町まで行くことになってしまいます…。町内に公園など早めにつくってもらえると遊びに行きやすいです。（30代）
- ・巨大な堤防や、道路を作ることが、復興とは思えない。事業によって恩恵を受ける人は、いるのでしょうか、インフラは最低限のものがあればいいと思う。人々が、この町に住みたくなる施策に力を入れてほしい。（40代）
- ・自然災害に対し今までより強力に対抗しうる防災対策を実施してほしい。堤防や雨水対策等々。（60代）

【医療施設の復興・充実について】

- ・小児科、皮膚科、相双地区に救急救命センターを新しくつくって欲しい（原町、小高、浪江周辺）。（40代）
- ・持病があるため、毎月の通院が必要です。帰るにあたり病院の完備は不可欠です。よろしくお願いします。（50代）
- ・よその市町の病院に行かなくとも浪江町ですべての病気に対応可能な病院が出来る事を希望します。（70代以上）

3-9-9 原発の安全性について

<図表3-9-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[廃炉作業全般について]

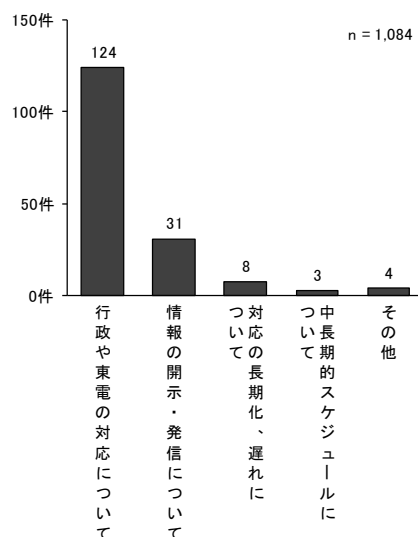
- 廃炉の手順、今の状況をもっとみんなに発表した方が良いと思う。復興より、安心を求めたい。(50代)
- 地震、津波、台風による原子力発電所(1F)のさらなる事故をたいへん危惧しています。台風の大型化、3.11以上の地震、津波など自然災害に対する対策を完全に実施し安全第一で廃炉に向かって下さい。又不具合、事故事例があった時は情報を包み隠さず発表して下さい。(60代)
- 原発作業員さんが1番苦労しています。彼らにこそ十分な対策をおねがいします。(70代以上)

[廃炉作業の迅速な実施について]

- 廃炉も加速して安全な処理を行ってほしい。(50代)
- 廃炉は東電と国の責任である。東電だけに責任を押しつけている。建設も廃炉も国策で行ない、原発と放射性物質を早く処分してほしい。(60代)
- 医療費等の補助。高速道路通行料無料等。原子力発電の早期の廃炉。帰還困難区域の早期除染。(70代以上)

3-9-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-9-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- いつになったら国は口だけではなく先頭に立って責任を果たすのか。国策で進めてきておきながら責任は東電に押しつけている。一方では賠償に口出しをして東電がお金を出しづらくしている。何様か。浪江の土地は、早く国に買い取ってもらいたい。当たり前。除染は全部やるのが当然。(30代)
- 震災から8年7カ月が経ち、国も県も浪江町も被災者を忘れかけている気がします。何年経っても町民に寄り添い、支援をして下さい。(40代)
- 個人それぞれに応じた賠償をしてくれるという話は、夢物語みたいです。東電は個人には冷たく、何の力にもなってくれません。ADRもどんな手続をとるのかその場所（どこかわかりませんが）に行ってもということも億劫で本当に困ります。(70代以上)

【情報の開示・発信について】

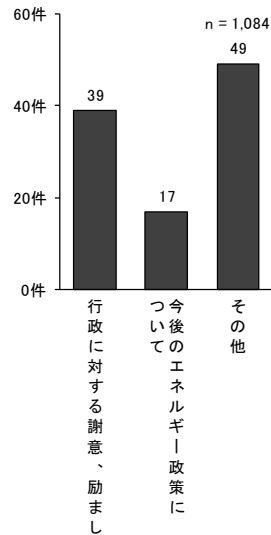
- 私達、双葉郡の状況は天災というより人災に近いものです。国、メディアは信用できる情報を発信してほしい。(40代)
- 時間が経つことによって人々の関心は薄れていくものです。来年のオリンピックは復興をアピールする絶好の機会だと思いますが、きれいな建物や施設だけを見せるのではなくて除染土の詰まった置き場や津波被害を受けた建物や土地等マイナスイメージの所も見せて欲しいと思います。まだまだ復興が進んでいない事を改めて認識するのだと思います。(60代)
- 帰還困難区域の情報が入ってこないがこの先、どうなっていくのか…。不安。(70代以上)

【対応の長期化、遅れについて】

- 原発訴訟に参加していますが時間がかかります。(60代)
- 原発を含む災害から、8年8ヶ月になろうとしているが、余りにも長い。未だに困難区域でしばりがあるのは大変疲れます。(60代)
- 避難先での生活が定着した今、時、既に遅し！！汚染した自然が震災前に戻るのは何時！！(70代以上)

3-9-11 その他

＜図表3-9-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 復興に携わっている方々、町議会の方々、東電の方々と他、言葉では言い表せない位の感謝で一杯です。(40代)
- 現在、浪江町の復興に関わり、努力されている皆さんに心から感謝しております。少しずつでも復興が前進し、若い人達が、生きがいを見つけられるような形になっていって欲しいと願っています。(50代)
- いろいろと大変な部分があるかと思われませんが、引き続き浪江町の復興について、どうぞよろしくお願い致します。(60代)

【今後のエネルギー政策について】

- やはり、原発に頼らない生活はできないものですか？同じ事故が他の地域で起こらない事を願っています。(30代)
- 同じ思いは二度としたくない。原発事故のない未来にして欲しい。(50代)
- 放射能の事が何とかなるまで原発は中止する事。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

浪江町 住民意向調査

～「町内のまちづくり」「町外の支援の方向性」へのご意向をお聞かせください～

【この調査について】

●調査対象者：各世帯の代表者

※ 現在の世帯が何カ所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

●提出期限：10月29日（火）まで

※ 記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。
（切手は不要です。）

●ご回答にあたっての注意事項

- ・ご氏名などを記入していただく「記名式」の手法でお願いしています。
- ・次のページに「氏名」、「住所」、「連絡先（電話番号）」の記入をお願いします。

以下の方法でご回答ください。

- ・選択肢のうち、当てはまる番号を選び、その番号に ○ を記入してください。
- ・「その他」に ○ をされた場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ・内には、具体的な内容（地域、数など）を記入してください。

●この意向調査で得られた情報（個人情報を含む）の取り扱い

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、浪江町、福島県及び復興庁において適切に管理し、各種施策の検討・推進の目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行いますので、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

※ この意向調査への回答は、あくまでも現在の考えを聞くものであり、町内に戻ることを求めるものではありません。

【お問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-342

[設置期間：10月16日（水）～10月29日（火） 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 生活拠点課
電話：024-521-8617

浪江町

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2
浪江町役場 企画財政課 企画調整係
電話：0240-34-0240

はじめに、ご記入いただく「あなた」ご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の町内のまちづくりや町外の支援の方向性などに関して、住民のみなさまのご意見やご要望をお伺いすることを目的に実施するものです。

早期に安定的な生活環境を整えるため、ご回答をいただいた内容について、より詳しくお聞きする場合がありますので、ご回答者の氏名と現在のご住所、ご連絡先のご記入にご協力をよろしくお願いいたします。

F1 あなたの氏名を教えてください。

F2 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の住所	
震災前の住所	浪江町大字 _____ 字 _____

F3 あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

【すべての方にかがいます。】

問 1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) 年齢 (○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

【すべての方にかがいます。】

問 2 現在のあなたの就業形態を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。仕事に就いていない方は、今後の就業意向も教えてください。

なお、2つ以上の仕事に就いている場合は、主な収入源になっている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 7. パート・アルバイト | } ⇒問 2-1 へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中であり、今後再開予定) | 8. 自営業者・会社経営者(休業中であり、職を探している) | |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) | |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) | |
| 5. 団体職員 | 11. その他(具体的に | |
| 6. 公務員 | |) |

【問 2 (1) で「1」～「7」、「11」と回答した方にかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 2. 林業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 3. 漁業 | 15. 金融業 |
| 4. 畜産業 | 16. 保険業 |
| 5. 建設業 | 17. 医療 |
| 6. 製造業 | 18. 福祉・介護 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 19. 教育 |
| 8. 運輸業 | 20. 公務 |
| 9. 卸売業 | 21. その他(具体的に |
| 10. 小売り業 | |
| 11. 宿泊業 |) |
| 12. 飲食サービス業 | |

IV 参考資料

【問2(1)で「8」～「10」と回答した方にうかがいます。】

問 2-1 今後の就業意向を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい | ⇒問 2-2 へ |
| 2. 今後、浪江町外の職場で働きたい | } ⇒問 3 へ |
| 3. 今後、働く予定はない | |
| 4. 分からない | |

【問2-1で「1. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 2-2 今後希望する就業形態・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている就業形態・業種を教えてください。

(1) 就業形態(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 特に希望はない ⇒問 3 へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. その他(具体的に |
| 4. 団体職員 |) |
| 5. 公務員 | |

【問2-2(1)で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 12. 飲食サービス業 |
| 2. 林業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 畜産業 | 15. 金融業 |
| 5. 建設業 | 16. 保険業 |
| 6. 製造業 | 17. 医療 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護 |
| 8. 運輸業 | 19. 教育 |
| 9. 卸売業 | 20. 公務 |
| 10. 小売り業 | 21. その他(具体的に |
| 11. 宿泊業 |) |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1. 1区 | 14. 高瀬 | 27. 田尻 | 40. 西台 |
| 2. 2区 | 15. 幾世橋 | 28. 末ノ森 | 41. 藤橋 |
| 3. 3区 | 16. 北幾世橋北 | 29. 大堀 | 42. 羽附 |
| 4. 4区 | 17. 北幾世橋南 | 30. 小野田 | 43. 津島 |
| 5. 5区 | 18. 北棚塩 | 31. 谷津田 | 44. 下津島 |
| 6. 6区 | 19. 南棚塩 | 32. 酒井 | 45. 南津島上 |
| 7. 7区 | 20. 請戸北 | 33. 室原 | 46. 南津島下 |
| 8. 8区 | 21. 請戸南 | 34. 立野上 | 47. 赤字木 |
| 9. 佐屋前 | 22. 中浜 | 35. 立野中 | 48. 手七郎 |
| 10. 川添北 | 23. 両竹 | 36. 立野下 | 49. 大昼 |
| 11. 川添南 | 24. 小丸 | 37. 荻宿 | 50. 分からない |
| 12. 上ノ原 | 25. 畑川 | 38. 加倉 | |
| 13. 樋渡・牛渡 | 26. 井手 | 39. 酒田 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 4 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | (具体的に) |
| 5. 公営住宅 |) |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(○は1つ)

<p>【浜通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 浪江町 5. 大熊町 6. 富岡町 7. 檜葉町 8. 広野町 9. 葛尾村 10. 川内村 11. 新地町 12. 飯舘村 	<p>【中通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 福島市 14. 郡山市 15. 白河市 16. 須賀川市 17. 二本松市 18. 田村市 19. 伊達市 20. 本宮市 21. 桑折町 22. 川俣町 23. 大玉村 24. 西郷村 25. 三春町 	<p>【会津】</p> <ol style="list-style-type: none"> 26. 会津若松市 27. 喜多方市 28. 会津美里町 <p>【福島県内のその他の市町村(1~28以外)】</p> <p>29. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村) <p>【福島県外】</p> <p>30. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・区・町・村)
---	---	--

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 仮設住宅(プレハブ型・無償) 2. 借上住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型・無償) 3. 浪江町営の災害公営住宅(浪江町内・有償) 4. 福島県営(本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む)の復興公営住宅(浪江町外・有償) 5. その他の公営住宅(「3」、「4」は除く。有償) 6. 民間賃貸住宅(有償) 	<ol style="list-style-type: none"> 7. 持ち家(ご本人またはご家族所有) 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 9. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) 10. 親戚・知人宅 11. その他 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 具体的に </div>
--	---

将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。

「1」～「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. すでに浪江町に戻っている | ⇒問 10～11 へ |
| 2. 戻りたいと考えている | ⇒問 12～17 へ |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒問 12～14、問 18～21 へ |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒問 12～14、問 22～25 へ |

問 10～11 は、問 9 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 10 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 医療機関(診療科)の拡充 | 10. 鉄道などの公共交通機関の再開・充実 |
| 2. 介護・福祉施設の充実 | 11. 町内コミュニティ活動(行政区などの活動も含む)生涯学習環境の機会 |
| 3. 保育・教育環境の充実 | 12. 公営住宅・居住環境の整備 |
| 4. 見守り活動の継続 | 13. 継続的な健康管理などの、放射線に対する不安解消への取組、放射線量低減対策 |
| 5. 就業支援 | 14. その他 |
| 6. 従業員の確保への支援 | 〔具体的に〕 |
| 7. 防犯体制の強化 | |
| 8. 有害鳥獣対策の強化 | |
| 9. 商業施設の再開・充実 | |

【問 9 で「1. すでに浪江町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 11 問 10 で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

問 10 の 選択肢番号	お考え
(例) 5	町内で就職する際のサポートをして欲しい。

問12～14は、問9で「2. 戻りたいと考えている」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問12 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。(○は1つ)

1. 週の半分以上戻っている
2. 週に半分程度戻っている
3. 月に1回程度戻っている
4. ほとんど戻っていない
5. 戻ったことがない

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問13 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。

(○は1つ)

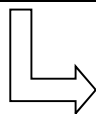
1. 家族の一部はすでに戻っている
2. 週の半分以上戻っている
3. 週に半分程度戻っている
4. 月に1回程度戻っている
5. ほとんど戻っていない
6. 戻ったことがない

【問9で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問14 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻られる理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 財産(自宅やお墓等)の管理をするため
2. 地域の行事に参加するため
3. 心身のリフレッシュをするため
4. 地域の復興組合の作業のため
5. 家族に会いに行くため
6. 知人に会いに行くため
7. 仕事のため
8. その他(具体的に)



問9で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方は問15へ
問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方は問18へ
問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方は問22へ

問 15～17 は、問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 15 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|-----------|
| 1. 家族の全員 | } ⇒問 15-1 へ | 3. 現在検討中 | } ⇒問 16 へ |
| 2. 家族の一部 | | 4. まだ分からない | |

【問 15 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問 15-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15 歳以上 18 歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18 歳以上 65 歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 16 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

【元の住居と違う場所】

- | | |
|---|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 新たに一戸建の持ち家を新築または購入 2. 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用 3. 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用 4. 新しくできる(災害)公営住宅 5. 現時点では判断できない | } ⇒問 16-1 へ |
|---|-------------|

【元の住居と同じ場所】

- | | |
|--|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 6. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む) 7. 元の民間賃貸住宅(一戸建) 8. 元の民間賃貸住宅(集合住宅) 9. 元の給与住宅(社宅など) 10. 家族のどなたかのお住まい・実家 11. 親戚・知人宅 12. 現時点では判断できない 13. その他(具体的に) | } ⇒問 17 へ |
|--|-----------|

IV 参考資料

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-1 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 元の住居が帰還困難区域内にあるから
2. 元の住居周辺の放射線量の高さが心配だから
3. 元の住居周辺に住む人が少ないと思うから
4. 浪江町内の新たな場所で生活を開始したいから
5. 今後、津波の被害を受けることが心配だから
6. 津波被災により災害危険区域となったため住めないから
7. 元の住居が荒廃しているから
8. 元の住居を解体したから
9. その他(具体的に)

【問 16 で「1」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問 16-2 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

1. 現在、住まいの希望先を検討している
2. 現時点で判断できない
3. 住まいの希望先を決めている(具体的な行政区 :)

【問 9 で「2. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 17 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(○は1つ)

1. すぐに戻りたい ⇒問 17-1 へ
 2. 数年で帰りたい(5 年以内)
 3. 当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい(6 年以降)
 4. 分からない
- } ⇒問 17-3 へ

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問 17-1 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策
2. 住宅の修繕や建て替えへの支援
3. 住宅の新築・購入の支援
4. 災害公営住宅や民間賃貸住宅への入居支援
5. 買い物環境への支援
6. 健康や介護に関する支援
7. 子育てや学校教育への支援
8. 生活交通の支援
9. 就業支援
10. 従業員の確保への支援
11. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善
12. 特にない
13. その他(具体的に)

【問 17 で「1. すぐに戻りたい」と回答した方にうかがいます。】

問 17-2 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

 問 26 へ

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-3 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(○はいくつでも)

1. 仕事(事業再開を含む)ができるようになること
2. 元の家屋に住めるようになること
3. 住宅の新築や購入により居住できる環境が整うこと
4. 町内の災害公営住宅などの賃貸住宅が整うこと
5. 鉄道やバスなどの公共交通が整うこと
6. 医療・介護などが整うこと
7. 商業やサービス業などの施設が整うこと
8. 教育環境が整うこと
9. 避難中の今の場所での子育てを終えるまで
10. 住民の帰還がある程度進んでから
11. 放射線量の低下や除染成果が分かってから
12. 放射線の人体への影響が分かってから
13. 中間貯蔵施設の状況が分かってから
14. 原子力発電所が安全と分かってから
15. 受け取る賠償額が分かってから
16. 分からない
17. その他(具体的に)

IV 参考資料

【問17で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-4 帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

<p>【浜通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 大熊町 5. 富岡町 6. 檜葉町 7. 広野町 8. 葛尾村 9. 川内村 10. 新地町 11. 飯館村 	<p>【中通り】</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 福島市 13. 郡山市 14. 白河市 15. 須賀川市 16. 二本松市 17. 田村市 18. 伊達市 19. 本宮市 20. 桑折町 21. 川俣町 22. 大玉村 23. 西郷村 24. 三春町 	<p>【会津】</p> <ol style="list-style-type: none"> 25. 会津若松市 26. 喜多方市 27. 会津美里町 <p>【福島県内のその他の市町村(1～27以外)】</p> <p>28. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村) <p>【福島県外】</p> <p>29. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・区・町・村) <p>【その他】</p> <p>30. 決めかねている</p>
--	---	---

【問17で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】

問 17-5 帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 民間賃貸住宅(一戸建) 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) 5. 公営住宅 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) 	<ol style="list-style-type: none"> 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 8. 親戚・知人宅 9. その他 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px auto;"></div>
--	--

【問 17 で「2」～「4」と回答した方にうかがいます。】


問 17-6 帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(○はいくつでも)

1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい
2. 浪江町の祭事などに参加したい
3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい
4. ふるさと納税などで協力していきたい
5. 浪江町との関係性はなくてもよい
6. その他(具体的に)

(2) 必要な支援(○はいくつでも)

1. 浪江町の情報の提供
2. 賠償請求に関する支援
3. 住宅再建の支援情報の提供
4. 就労の支援情報の提供
5. 事業再開の支援情報の提供
6. 交流の場の開催
7. 支援は特にいない
8. その他(具体的に)

 問 26 へ

問 18～21 は、問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 18 浪江町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他

(具体的に

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 19 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報
2. 事業再開の目途
3. 就労の支援情報の提供
4. 元の住宅の住宅修繕に関する情報
5. 住宅確保への支援に関する情報
6. 鉄道やバスなどの公共機関の復旧時期の目途
7. 医療・介護の復旧時期の目途
8. 商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途
9. 学校などの教育環境の復旧時期の目途
10. どの程度の住民が戻るかの状況
11. 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
12. 放射線の人体への影響に関する情報
13. 中間貯蔵施設の情報
14. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
15. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
16. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない
17. その他(具体的に)

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 20 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

【問9で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 21 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい |
| 2. 浪江町の祭事などに参加したい |
| 3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい |
| 4. ふるさと納税などで協力していきたい |
| 5. 浪江町との関係性はなくてもよい |
| 6. その他(具体的に |

(2) 必要な支援(○はいくつでも)

- | |
|-----------------|
| 1. 浪江町の情報の提供 |
| 2. 賠償請求に関する支援 |
| 3. 住宅再建の支援情報の提供 |
| 4. 就労の支援情報の提供 |
| 5. 交流の場の開催 |
| 6. 支援は特にいない |
| 7. その他(具体的に |

→ 問 26 へ

問 22～25 は、問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 22 現時点で戻らないと決めている理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 浪江町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 浪江町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 保育・教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子どもの遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他

（具体的に）

→ 問 22 で「1」～「4」、「8」～「25」と回答した方は問 23 へ

【問 22 で「5」～「7」と回答した方にうかがいます。】

問 22-1 町内でどのような就業形態・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 就業形態 (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 特に希望はない ⇒問 23 へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. その他 |
| 4. 団体職員 | （具体的に） |
| 5. 公務員 | |

【問 22-1 (1) で「1」～「6」、「8」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 12. 飲食サービス業 |
| 2. 林業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 畜産業 | 15. 金融業 |
| 5. 建設業 | 16. 保険業 |
| 6. 製造業 | 17. 医療 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護 |
| 8. 運輸業 | 19. 教育 |
| 9. 卸売業 | 20. 公務 |
| 10. 小売り業 | 21. その他 (具体的に |
| 11. 宿泊業 |) |

【問 9 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 23 今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

【浜通り】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 大熊町
5. 富岡町
6. 檜葉町
7. 広野町
8. 川内村
9. 葛尾村
10. 新地町
11. 飯舘村

【中通り】

12. 福島市
13. 郡山市
14. 白河市
15. 須賀川市
16. 二本松市
17. 田村市
18. 伊達市
19. 本宮市
20. 桑折町
21. 川俣町
22. 大玉村
23. 西郷村
24. 三春町

【会津】

25. 会津若松市
26. 喜多方市
27. 会津美里町

【福島県内のその他の市町村(1～27以外)】

28. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【福島県外】

29. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・区・町・村)

【その他】

30. 決めかねている

IV 参考資料

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 24 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

【問9で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 25 浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい | |
| 2. 浪江町の祭事などに参加したい | |
| 3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい | |
| 4. ふるさと納税などで協力していきたい | |
| 5. 浪江町との関係性はなくてもよい | |
| 6. その他(具体的に |) |

(2) 必要な支援(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---|
| 1. 浪江町の情報の提供 | |
| 2. 賠償請求に関する支援 | |
| 3. 住宅再建の支援情報の提供 | |
| 4. 町内での就労支援情報の提供 | |
| 5. 交流の場の開催 | |
| 6. 支援は特にいない | |
| 7. その他(具体的に |) |

問 26 は、すべての方にうかがいます。

【すべての方にうかがいます。】

問 26 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿を教えてください。ご自由にお書きください。

復興公営住宅についてうかがいます。

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰還に向け、仮設住宅等から安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※浪江町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方にうかがいます。】

問 27 福島県営の復興公営住宅(浪江町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. すでに入居している | 4. 入居を希望しない |
| 2. 入居の申し込み中である | 5. 判断できない (判断できない理由) |
| 3. 今後、入居の申し込みをしたい | |
- ⇒ 問 27-1 へ

問 27 で「1」「2」「4」「5」と回答した方は問 28 へ

【問 27 で「3. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 27-1 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|----------------------------------|
| 1. 福島市 | 6. 二本松市 | 10. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください |
| 2. 会津若松市 | 7. 田村市 | |
| 3. 郡山市 | 8. 南相馬市 | <input type="text"/> (市・町・村) |
| 4. いわき市 | 9. 本宮市 | |
| 5. 白河市 | | |

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません。

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8617

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 28 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 既に使用している 2. 解体して建て替えたい 3. 解体して更地にしたい 4. 修繕して自ら使いたい 5. 売却したい 6. 貸したい | <ul style="list-style-type: none"> 7. 今後判断したい 8. 既に解体されて更地になっている 9. もともと保有している家屋はない 10. その他
〔具体的に〕 |
|---|--|

【すべての方にうかがいます。】

問 29 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 既に使用している 2. 自ら使いたい 3. 売却したい 4. 貸したい 5. 今後判断したい | <ul style="list-style-type: none"> 6. もともと保有している宅地はない 7. その他
〔具体的に〕 |
|---|---|

浪江町からの情報入手についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 30 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 広報なみえ | 7. 新聞(福島県内の地方紙) |
| 2. 浪江町メールマガジン | 8. 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙) |
| 3. なみえ新聞(タブレット) | 9. テレビ |
| 4. 浪江町ホームページ | 10. ラジオ |
| 5. 浪江町フェイスブック(つながろうなみえ) | 11. 友人・知人からの口コミ |
| 6. 地域情報メディア(なみえまるみえ) | 12. その他(具体的に |

【すべての方にうかがいます。】

問 31 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. やや満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 32 ホームページ、広報なみえ、なみえ新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 現在の浪江町内の様子 | 8. 浪江町民の声 |
| 2. 復興計画の進行状況 | 9. 除染の進捗状況 |
| 3. 浪江町内の求人情報 | 10. 浪江町長の動向 |
| 4. 浪江町民からのよくある質問 | 11. 浪江町議会の様子 |
| 5. 昔なつかしい浪江町内の写真 | 12. 賠償に関する動向 |
| 6. 浪江町内でのイベントの様子 | 13. その他(具体的に |
| 7. こども園・小中学校の情報 | |

浪江町に対する思いについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 33 浪江町への誇り・愛着を持っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 持っている | 3. どちらともいえない |
| 2. 持っていない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 34 浪江町の自慢できる場所は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 自然 | 6. 福祉安全 |
| 2. 気候 | 7. 人間性 |
| 3. 観光資源 | 8. 自然環境保全 |
| 4. 特産品 | 9. その他 (具体的に |
| 5. 伝統行事 |) |

国や福島県、浪江町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 35 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
10月29日（火）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**浪江町 住民意向調査
報告書**

令和2年3月

復興庁 福島県 浪江町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

